

幻各・陽・保・飯・麦・阿・中)

14 03 01いとゝナシ各保心ち中

14 03 01様にやうに各陽保飯麦阿中

14 03 01のみナシ各陽中て麦阿

14 03 01ひとつはひとつの各ひとつには陽中ひとつに麦阿

つに麦阿

14 03 02あらたまるへくもあらたまるへうも各飯

中

14 03 02あらぬにおほえぬに各

14 03 02とにはナシ各保麦阿

14 03 02れのやうにれのやうに中

14 03 02まいりまいりあつまり中

14 03 02すれとす各保麦阿中

14 03 03御心ちおほむ心ち保

14 03 03給てたまで保

14 03 03のみナシ各保麦阿中

14 03 03兵部卿の宮兵部卿宮飯中兵部卿宮の麦

阿

14 03 04たまへるにそ給へるに各陽

14 03 04たゝナシ各保麦阿中

14 03 04たいめんたいめ保麦阿

14 03 04御せうそく御せうそく各

14 03 06なにゝか春のなにしにほるの各

14 03 07給てたまで保

14 03 08香をとめて春をとめて阿

14 03 08花のたよりと花のたよりに麦阿

14 03 09したもと麦阿

14 03 09あゆみいてあゆみより各陽保飯麦阿中

14 03 09給へるたまふ各保

14 03 09御さまの御さま飯

14 03 09なつかしきにそなまめかしければ各保飯麦阿中

14 03 09ほかにほかに陽

14 03 09みはやすへきもてはやすへき各保飯麦阿もて(エイ)はやすえ力中

14 03 10人なくやとみ給へるかたそけになかりける

各人やばあらんとみえ給か陽かたなくそみゆる保かたやなくと見給飯かたなけにそみゆる麦阿人なけにそみゆる中

14 03 10花はナシ各さるは麦阿

14 03 10ひらけさしつゝ人けして各ひらけて

中

14 03 10御あそひも御あそひ陽

14 03 11なくなて各

14 03 11れいにかはりたるれいにはたかへる各れいにかはれる飯れいにかはる中

14 03 11おほかりおほかるよりノ上カラルヲ書ク

陽

14 03 11なともなどの各

14 03 11すみそめのいろこまやかにてきつゝかなし

14 03 11なをすみそめの色こまやかにてきつゝ

阿なをすみそめ

かなしさも中

14 03 12あらためかたくあらためす各保麦阿あら

ためす各あらためかたう飯あらためはか

たく中

14 03 12思ひさますおもひなくさむ各おもひさむ

中

14 03 12世よも陽保よ中

14 03 12なくなつ保飯

14 03 13きこゆるにきこえ給各きこゆる保麦阿きこえける飯きこゆるに中

14 03 13たえて御かたノにもたゝかくてほかにな

とも保たゝこと御かたノにも陽ほかにな

ほかになとも(エイ)えて御かたノにも中

14 03 13わたりはたり麦

14 03 13まきれなくみたてまつるをまきれなき御おこ

なひを各まきれなうみたてまつるを保飯へ

たてなく見奉るに麦阿奉るに奉るを阿へ

たすまきれいなくみたてまつるを中

14 03 14なくさめにてなくさめにてすくし給各め

にノ空白飯

14 03 14なれつかうまつれるなれつかうまつりし

各なれつかうまつる陽保飯麦阿中

14 03 14としころすきぬるかたも陽

14 03 14御心心麦阿

14 03 14なとはこそ各は陽

14 03 14あらさりしかとあらさりつれとさすかに

陽

14 04 01時ノはときノも各時ノ麦阿

14 04 01みはなたぬやうにおほしたりつるみはなち

たまはさりつる各みはなたぬ物におもほし

つゝ阿八たノ上カラなヲ書ク麦阿みはな

ためものにおほいたりし中

14 04 01人々も人も陽人ノ保

14 04 01なかノ中ノ中に中

14 04 01 かける ナシ各 かく麦阿中 かつ中  
 14 04 01 さひしき ひさしき麦阿  
 14 04 02 なりては 各保麦阿中 なり給ては陽  
 14 04 02 おほそうに おほそかに 各おほそ(つ)に中  
 14 04 02 もてなしもてない中  
 14 04 02 御とのいこのる陽保  
 14 04 02 などにもには 各麦阿中 などは保  
 14 04 03 これかれとあまたを あまたこれかむ 各ノ  
 こハカ「各中」これかれあまたを陽あまた  
 これかれを保あまたこれ飯かれこれを麦  
 阿  
 14 04 03 おましの 御ましの 各阿をまへの飯 御あし  
 の麦  
 14 04 03 あたり あたりには 各あたりすこしを陽わ  
 なりに飯  
 14 04 03 ひきさけつゝ ナシ各  
 14 04 03 さぶらはせ さぶらははせ保  
 14 04 03 給 ナシ陽  
 14 04 04 まゝに ナシ陽  
 14 04 04 いにしへ すきにしかた各  
 14 04 04 物かたりなし給 ことなとかたらせたまふ  
 各 御物かたりなし給飯 ことなとかたり  
 て給麦阿中  
 14 04 04 おりノもときも 各保飯麦阿中  
 14 04 04 御ひしり心の ひしり心 各御(つ)の陽 御  
 ひしり心中  
 14 04 05 ふかく ぶかう 保飯 ナシ中  
 14 04 05 さしも ナシ飯

14 04 05 ありはつましかりける ありはてきりける 各  
 中  
 14 04 05 ことにつけつゝ ことにふれて各  
 14 04 05 なか比 ナシ陽 なかころは保麦阿中  
 14 04 06 ものうらめしうおほしたるものを おほした  
 る 各ものをうらめしうおほしたる 飯物 各ん  
 しし給ける麦阿ものえんしし給しをりノ  
 の中  
 14 04 06 けしきるときとき 御気色の各  
 14 04 06 みえ給しなとを みえしおりノ各保 みえ給  
 しなと陽 見えしなと飯 見えし折ノは麦阿  
 「折ノは折ノを阿」みえしを中  
 阿  
 14 04 06 おほしいつるにおもほしいつるに飯麦  
 阿  
 14 04 06 なたて ナシ麦阿  
 14 04 07 たはふれにても たわふれにも中  
 14 04 07 またまめやかに心くるしきことにつけても ナ  
 シ飯  
 14 04 07 また ナシ各麦阿  
 14 04 07 まめやかに心くるしき まめやかに心くるし  
 きなる中  
 14 04 07 心くるしき(つ)くるしきてもノ上カラ(つ)  
 ヲるヲ書ク「陽」  
 14 04 07 つけても つけて各  
 14 04 07 さやつなる 何にさやつなる麦阿  
 14 04 07 こころを(つ)を各保飯 事麦阿(つ)を(つ)  
 ろを(中)  
 14 04 08 みえたてまつり みせたてまつり 各みえたて  
 まつ(つ)るノ上カラてヲ書ク「陽」みせ(え)た

てまつり中  
 14 04 08 なに事も(つ)く(つ)くおはせし御心はえなり  
 しかは 何事にも(つ)く(つ)くおはせし御心  
 はへなりしかは 中  
 14 04 08 なに事も ナシ各麦阿(つ)ことも飯 何事にも  
 「前項参照」中  
 14 04 08 らうノしくりやうノしくり陽保麦阿(つ)う  
 ノしくり保麦阿(つ)やうノしくり「前項参照」  
 中  
 14 04 08 おはせしものし給ふ各みえたまうし保  
 飯 見え給し飯物し給し麦阿ものしたまひ  
 「前項参照」中  
 14 04 08 御心はえなりしかは 御心なれば各麦阿 心な  
 れは保心なれば 前項参照」中  
 14 04 09 ふかき心も(つ)ころをも各麦阿 ふかき心なと  
 陽(つ)ころのほとをも保 ふかき心のほとをも  
 飯 ふかき 心を中  
 14 04 09 いと ナシ各麦阿  
 14 04 09 ようよく各保麦阿  
 14 04 09 みしり給ながら 見しり各みしり給て陽 各  
 て保 みしりて麦阿 各みしりながら 中  
 14 04 09 各んしはてなかく(つ)らみ各保麦阿中(つ)な  
 かくなかう保麦阿中(つ)なかくえんしはて  
 陽  
 14 04 09 ことは 事陽  
 14 04 09 なかりしかと なかりしかとも中  
 14 04 09 一わたりつゝは ひとわたりつゝ各ひとわた  
 りは(つ)保 ひとわたりつゝは 中

14 04 10 すらんとおほしたりしを ナシ各保麦阿すら  
 んとおほしたりしに陽中 すらんとおほした  
 りしに中  
 14 04 10 すこしにてても少も麦阿すこしも阿すこし  
 にても「前項下一連ノ補入」中  
 14 04 10 心をみたり「こころまきれ各心のまきれ麦  
 阿心の(を)みたれり」中  
 14 04 10 給けむことの 給けんか各麦阿 たまひけんこ  
 とぬはんノ上カラひけヲ書ク「陽 給しこと  
 の飯 給けん 事のか中  
 14 04 11 くやしうくやしふ麦八つノ上カラくヲ書ク  
 中(中)  
 14 04 11 覚給おほさるゝ各おほえ給へは飯 ナシ麦  
 力「麦阿 ナシ前項参照」中  
 14 04 11 さま 事各保 さまノ陽 ナシ飯麦阿  
 14 04 11 むねよりも むねに各むねより陽保飯麦阿  
 中  
 14 04 11 あまる あまり給陽  
 14 04 11 ことの心をしりし心しり各事のこころをも  
 しり陽保飯 事の心も麦阿 事の心もしり中  
 14 04 12 いまもちかう ナシ各  
 14 04 12 ちかうちかく陽 かう中  
 14 04 12 つかうまつる人々 つかうまつりなれたる人  
 各  
 14 04 12 ほのノ ほのかに各保麦阿中  
 14 04 12 入道の宮の につたうの宮陽 入道宮の麦

阿  
 14 04 13 わたりはしめ わたりそめ麦阿  
 14 04 13 給へりしほとたまひしこ各保飯麦阿中 た  
 まへりしほと陽  
 14 04 13 そのおり ナシ各 そのをり陽  
 14 04 13 色にはさらにさらにいろには各いろには  
 飯色にはいさなかも中  
 14 04 13 いたし給はざりしかといたざりし程も麦  
 阿いたし給はざりしさをりしかとも中  
 14 04 14 ふれつゝ ふれて各  
 14 04 14 あちぎなの あちぎなの中  
 14 04 14 おもひたまへりし おもつたまへりし保 思給  
 へる麦阿 おもひわたりし中  
 14 05 01 なかにも 中にも各麦阿 うちにも飯  
 14 05 01 雪 雪の麦阿中  
 14 05 01 ふりたりし ふりし中  
 14 05 01 あかつきに あかつき飯中  
 14 05 01 たちやすらひてわか身も われもたちやすら  
 ひつゝ身も各 わかみもたちやすらひて保中  
 14 05 01 わか身もひえいるやうにおほえて ナシ  
 陽  
 14 05 02 おほえて ナシ各保麦阿中 おほえ飯  
 14 05 02 けしき けしきも保飯麦阿中  
 14 05 02 なつかしう なつかしく飯  
 14 05 02 そての そて各 ナシ飯  
 14 05 03 いたう いたく各  
 14 05 03 なきぬらし給へりけるをぬれたまへりしを  
 各 なきぬらし給へる御袖を飯

14 05 03 ひきかくしせめてせめてひきかくし各保飯  
 中せめてせめても中ひきかくしせめて  
 陽 せめてひきかくしゝ麦阿  
 14 05 03 給へりしほとの 給し各保麦阿中 給へりし給  
 へりしほとの陽 たまし保給しほとのうらな  
 きものからうちとけぬ飯  
 14 05 04 なとをなとをそ各なと中  
 14 05 04 よもすから 夜もすから「トルカ」飯 ナシ  
 中  
 14 05 04 又は ナシ各 また保麦阿中  
 14 05 04 世にかと世にみだてまつらむと各よにかな  
 と陽中  
 14 05 04 おほしつゝけるる おほしめしつゝけるる  
 各おほしつゝけたる陽保飯麦阿 おほしお  
 もほし麦阿 おほしつゝくるに中  
 14 05 04 あけほのにしもあか月にしも各 明ほのしも  
 麦阿  
 14 05 05 さつし 下のさつし麦阿  
 14 05 05 女房なるへし 女はうのこゑにて各保麦阿  
 中  
 14 05 05 いみしつも いみしつ飯麦阿  
 14 05 05 つもりにける つもりける陽中  
 14 05 06 こゑ ナシ各保麦阿中  
 14 05 06 きつつけき 各陽麦阿  
 14 05 06 給へる 給て各麦阿中 給へるにも飯  
 14 05 06 たゝ ナシ陽  
 14 05 06 こゝちするに 心ちし給ふも各 心ちしたまふ  
 に保飯麦阿中  
 14 05 06 御かたはらのさひしきもいふかたなくかな

14 05 06 御かたはらの 御かたわら陽飯かたはらの  
中

14 05 06 さひしきもさひしさも中

14 05 07 いふかたなくかなしあさましうて保麦阿

中 いふかたなくかなしうて飯

14 05 08 思つゝおもへとも各思しに麦阿

14 05 08 なをぞ程ふる われそほとふる各陽保麦阿わ

れそ 我なをイ(そ麦わなイ)れそ阿(なを  
そほとふる飯

14 05 08 まきらはしにほ まきらはしに各まきらはし

給はんとて麦阿 まきらはしにほ中

14 05 09 をこなひし給 御おこなひし給各をこなひた

まふ保飯中

14 05 09 火おこしてゝ火をゝこしてゝ各ひなと

をこしてゝ陽 火をゝこして飯ひをこして

麦阿中

14 05 09 御火おけ 御ひをけなと保麦阿 御ひをけなと

に飯 御てう(火をけ)中

中

14 05 10 中納言君 中納言のきみ各陽保飯麦阿中

14 05 10 中將の君 中將各ナシ麦阿 少將の君中

14 05 10 などとは各などを飯

14 05 10 おまへ 御まへ陽飯中 御前麦阿

14 05 10 ちかくてちかくて保飯中

14 05 10 御物かたりものかたりなと各物語麦阿

14 05 10 きこゆきこえ給各し給保飯麦阿中

14 05 10 ひとりねひとりねは各ひとりねの飯さも  
麦阿中

14 05 11 さひしかりつるひさしかりつる麦阿

14 05 11 夜のさまかなよを各よのさまかな陽よの

けしきかな保飯麦阿中よの夜の麦阿(

阿

14 05 11 かくてもかくて各かくても保飯かくも麦

14 05 11 いくよ陽保飯中

14 05 11 おもひすましおこなひすまし中

14 05 12 はかなくもはかなうも陽保飯中

14 05 12 かつらひけるいましてかつらひける保飯

麦阿中かつらひけるかくつらひける飯わ

つらひける阿かつらひける中

14 05 12 給つゝ各たまひつゝ保中給て麦阿

14 05 12 人々の人々の中

14 05 13 いとゝナシ各保飯中

14 05 13 なけきわひん なけきおもはん各なきまとひ

なけきわひん麦阿

14 05 13 このことなと各保飯事麦阿(ことゝ

中

14 05 13 あはれにあはれにのみ保

14 05 13 いとおしかるへきナシ各保飯中

14 05 13 などナシ各陽保飯中(ことなと飯

14 05 13 みわたし見はたし麦

14 05 14 うちをこなひつゝうちをこなひたまふ各  
保うちおこなひ給つゝ飯おこなひ給麦阿  
うちおこなひつゝ中

14 05 14 御声を御こゑなにも保麦阿 御こゑなとを  
飯

14 05 14 思はんおほさむ各

14 05 14 ことナシ中

14 05 14 にてたにたに保にてたにも飯たにも麦

阿

14 06 01 涙とまるましきをましてそのしからみせき

あへぬまてあはれになみたもろになりぬる  
をましてたゝ各なみたもろになりぬへうそ  
保麦阿(なりぬへうそ 成ぬへくそ麦成ぬる  
そ阿(

14 06 01 あはれにナシ飯

14 06 01 あけくれ 明くれ中

14 06 02 人々の人々も各保麦阿 人々(屯)の(

中

14 06 02 こゝちナシ各保麦阿(こゝち陽(こゝち

中

14 06 02 おもひきこゆ あはれにみきこゆるに各あは

れにおもひきこゆる保あはれに思きこゆ飯

麦阿

14 06 02 この世にいとかりそめのこの世に各保飯

中(いとかりそめのに麦阿

14 06 02 つけてはつけても各

14 06 02 あかすあかすなと各保中あかすなを飯麦

阿

14 06 03 ことおき(ことをさま(飯(ことなとを

ま(麦阿(事(おき(中

14 06 03 あるまじうまじらぬ各あるまじく飯  
14 06 03 身には家には麦阿 家には麦



へさせす中

14 06 12 むせかへりてむせかへりつゝ保麦阿

14 06 13 かくかくて保かう飯麦阿

14 06 13 なけき思ひ各保麦阿

14 06 13 なかめくらし給へる詠めくらし給麦阿なか

めしだくらし給へる中

14 06 13 などの各麦阿中ナシ保

14 06 14 おり／＼はをり／＼には中

14 06 14 かのナシ各この保麦阿中

14 06 14 おしなへてにはおほしたらさりしなへてな

らすおほしたりし各保麦阿中おほしおもほ

し麦阿しをしなへてならすおもほしたりし

飯

14 06 14 人々を人／＼陽麦阿

14 06 14 おまへ御まへ陽飯中御前麦阿

14 06 14 ちかくてちかく各ちかつて陽中

14 07 01 かやうのナシ各保麦阿中

14 07 01 御物かたり物かたり保麦阿中

14 07 01 などをなと各保飯麦阿中

14 07 01 中將の君とてさぶらぶは中將の君といふは

各保飯麦阿中中將の君中將君麦阿

14 07 01 ちいさくちめさかりし各

14 07 01 みたまひなれにしをみなれ給にしを各ちか

くみなれ給にしを麦阿身にちかうみたまひ

なれにしを中

14 07 02 しのひつゝしのひて各保麦阿中のひつ

ゝ陽

14 07 02 み給すくさすやおもひはなれすや各み給す

こさすや陽おもほしはなためさまにや麦阿

中(おもほしおほし中)

14 07 02 いとかたはらいたき事にかたわらいたく

各いとかたはらいたきさまに保飯かたはら

いたきさまに麦阿中

14 07 03 思ひておもひつゝみて保飯麦阿中

14 07 03 なれことになれ各保麦阿中なれも陽こと

になれも飯

14 07 03 きこえさりけるをきこえぬを中

14 07 03 かくナシ各保麦阿中かう飯

14 07 03 そのかたにはあらずナシ各保麦阿中その

かたにはあらずイ保

14 07 03 よりもよりことに陽飯より麦阿

14 07 04 ものにさまに中

14 07 04 給へりしかたさまにも給へりしかたにつけ

て各おほしたりしものをとをほしいつるに

つけて陽飯おほしおもほし飯給へりしか

たさまに志物とおほしいつるにかの御かた

みのイ(保給へりしかたにつきてそ麦阿給

しかたにつけても中

14 07 04 かのその各ナシ麦阿

14 07 04 御かたみの御かたみに麦

14 07 04 すちにつけてそすちにて各中すちをそ

陽すちにそ飯こきにそ麦阿

14 07 05 あはれにナシ各あはれと陽麦阿

14 07 05 おもほしけるさぶらぶ各をほしたる陽保飯

中おもほしたる保

14 07 05 などもなと各陽などの飯

14 07 05 めやすくていとめやすく各中めやすくてそ  
陽いとめやすくて保飯

14 07 05 うなひまつにおほえたるけはひたゝならまし

よりはナシ各

14 07 05 うなひまつにつかうまつるに陽うなひまつ

に本下傍記飯

14 07 05 おほえたるをもほえたる陽保飯麦おもおも

ほえたる阿おほしたる中

14 07 06 けはひけはひしたるなと保飯麦阿けはいし

たるも中

14 07 06 たゝならまし たゝならん陽たゝなる保飯麦

阿

14 07 06 らつ／＼しとかと／＼しくもと各りやつ

／＼しなと陽らつ／＼しくと飯をかしと

中

14 07 06 おもほすおほす各陽保飯麦阿おほせと

中

14 07 06 うときとき飯

14 07 06 人／＼保

14 07 07 なともなとも各

14 07 07 むつましきむつましきかきりまた各保麦

阿むつましきまた陽むつましきかきり

飯むつましきかまた中

14 07 07 御はらからの御はらの飯

14 07 07 宮たちみこたち各保飯麦阿中みこ御子飯

麦阿

14 07 07 などはかりそ各をも麦阿にも中

14 07 07 つねにまいりたまへれとナシ各中つねにま

いり給へと陽保飯系りへ給はす麦えりあへ  
給はす阿

14 07-08 たいめんし給ことおさ／＼なし たいめんし  
 給各おさ／＼たいめもし給はす麦阿中たい  
 めもたいめん中」  
 14 07-08 たいめんたいめ保  
 14 07-08 こと事も陽  
 14 07-08 人うとぎ人各保麦阿中  
 14 07-08 むかはむほとはかりはむかひては各むかは  
 んほとはかり陽むかはんほとは保飯  
 14 07-08 さかしくさかしく各保飯麦阿中  
 14 07-08 思ひしつめ ナシ各保麦阿中  
 14 07-09 心 心を中  
 14 07-09 おさめむとをさむと各  
 14 07-09 おもふともおほすとも各おもへとも飯  
 14 07-09 月ころにこのありさま月ころ入は各つき心  
 にこのありさま陽このありさまつきころに  
 保中(つきころにつきころ)に(つきころ)にミセケチ  
 力中(此有様月比麦阿有様有さま阿)  
 14 07-09 ほけにたらむ ナシ各ほけわた覽飯ほけた  
 たら麦中  
 14 07-09 身のありさまナシ各陽保麦中 身のありさま  
 飯とさま阿  
 14 07-09 かたくなしきむかことまじりてすぬの世の  
 か  
 くすとすともこのうまはきためしにすぬのか  
 たくなはしき各もてかくすともひか事まし  
 りてすぬのよはひにかたくなしく保麦阿中か  
 たくなしくかたくなしつ中」  
 14 07-10 すぬの世のすぬの飯  
 14 07-10 人にナシ麦阿

14 07-10 もてなやまれむ なやまされんもいとをしう  
 各みなやまれんも保見なやされんも飯み  
 なやまれんもいとをしう麦阿中  
 14 07-10 なやまれむ 14 15 08 うるはし 青表紙本二  
 三ル補写 陽  
 14 07-10 後の名のち各  
 14 07-10 うたてあるへし うたてあるへしと各 かく  
 なしかるへし中  
 14 07-10 おもひほれておもひほれ飯  
 14 07-11 人にもひとに中  
 14 07-11 みえさむなる みえさりける各麦阿 みえさな  
 る保中  
 14 07-11 いはれんも いはれんもいとをしうのちさへ  
 うたてあるへしと思ほれてなん人もみえさ  
 りけるといはれんも各  
 14 07-11 おなしことなれと ナシ中  
 14 07-11 猶 ナシ各  
 14 07-12 おもひやる ある各  
 14 07-12 事のことのおほきに各保麦阿中 ことの飯  
 14 07-12 かたはなるよりも かくたくなるよりも  
 飯  
 14 07-12 みくるしきすし見くるしかるへき各保飯  
 麦阿見くるし見くるしつ麦すししみくる  
 しき中  
 14 07-12 みるはみゆるは各麦阿中 みつるは保見え  
 つるは飯  
 14 07-12 こよなくこよなう保麦阿中  
 14 07-12 きはまさりてきはまりて中

14 07-13 をこなりと かくたくなはしきわさなりと各か  
 たくなしきわさなりと保麦阿中なりとなと  
 中」  
 14 07-13 おほせはおほすに飯 おもほせは麦阿  
 14 07-13 大将の君 大将殿各 大将君麦阿  
 14 07-13 たにも各さへ麦阿  
 14 07-13 へたてへそへたてへ保  
 14 07-13 たいめむ たいめ保麦阿 たいめん飯  
 14 07-13 し給けるし 給各保麦阿中し 給ける飯  
 14 07-14 し給へるしたる各保飯麦阿中  
 14 07-14 やうに人の やうにのみ見んひとの各  
 14 07-14 いひつたふへきいひいつる中  
 14 07-14 ころほひをころをひ飯麦阿 心を中  
 14 07-14 たに ナシ各保飯麦阿中  
 14 07-14 おもひのとめてこそはとねんしすくし給つ  
 おほししつめて各すくさんとおもほしつ  
 めし保八すノ上カヲシヲ書クし保飯麦阿お  
 もほしおほし飯すくさんとおもほしつみ  
 て中  
 14 08-01 うき世をもうき世も保  
 14 08-01 そむきやりえそむき各保えそむきやり  
 飯おもほしそむき麦阿中 おもほしおほし  
 中」  
 14 08-01 給はず給はて各  
 14 08-01 御方かたおほむかたへ保  
 14 08-02 まれにも ナシ各保麦阿 まれにも飯  
 14 08-02 うちほのめきほのめき各うちほのめい  
 保うちほのめかせ中

14 08 02 つけてはつけても各麦阿つけては(も)

中

14 08 02 涙の雨御なみた各なみた保麦阿

14 08 02 のみナシ各麦阿

14 08 02 ふりまさればふりまさり各ふりす麦

阿

14 08 03 いとわりなくてわりなければ各麦阿ナシ

保いとわりなうて中

14 08 03 おほつかなきさまにておほつかなくて各保

飯麦阿おほつかなくてのみ中

14 08 03 すくしすくし中

14 08 03 給給に麦阿

14 08 03 後の宮はつちにまいらせ給てナシ各

14 08 03 後の宮はきさいのみやは保中中宮は飯后

宮は麦阿きさいの宮は中

14 08 04 まいらせまいり保飯麦阿中

14 08 04 三宮をそ三の宮をそ保三宮を中

14 08 04 をそさうしきをなんつれしきの麦

阿

14 08 04 御なくさめには御なくさめに保飯中なくさ

めに麦阿

14 08 04 おはしまさせ給けるおはしまさせ給各保わ

たし奉り給ににわたり給ては麦阿に

おはしまさせ給中

14 08 05 のたまひしかはよのだまうしかは保

14 08 05 おまへの紅梅はいとまへのつひいを各保

飯麦阿御まへの紅梅中

14 08 05 とりわきてとりわきてついで保とりわき

麦阿

14 08 05 給ぶを給各たまふも保飯麦阿中

14 08 06 みたてまつりおもひきこえ各保飯麦阿

中

14 08 06 給給へり各保飯中

14 08 06 きさらきに二月に飯阿三月に麦

14 08 06 なれはなりぬれば保飯なりたれば中

14 08 06 とものとも各保飯麦阿中

14 08 06 さかりなるもさかりなる各いとさかりなる

も飯

14 08 07 こすゑこすゑはいと各

14 08 07 おかしうをかしく飯

14 08 07 わたれるにわたりたるに各保飯わたりたる

か麦阿わたるに中

14 08 07 かのこの各保飯阿中の飯

14 08 07 御かたみのおほんかたみの保御方の麦阿

中

14 08 07 紅梅に紅梅にしも麦阿

14 08 07 はなやかにいとわかやかに各わかやかに保

麦阿中ナシ飯

14 08 08 なきいてたれはうちなきたれは各保飯麦阿

中なきいてたれは飯

14 08 08 御覧すみ給各保中見給て麦阿

14 08 09 しらすかほにてしらすかほして麦阿

14 08 09 きるる鳥とみるるつへひす飯みるるつへひ

すなと麦阿みるるるきぬる阿

14 08 09 うそふきありかせうそふきあるき各保中あ

るきありき保中詠め麦阿

14 08 10 なりゆくなる飯麦阿

14 08 10 おまへの御まへの飯中

14 08 10 かはらぬをかはらぬ花のさかりを保麦阿

中かはらぬは花のさかりを飯

14 08 10 めて給ふかたにはあらねとみ給につけても

各

14 08 11 かたにはかたに中

14 08 11 あらねとあらねとも飯

14 08 11 しつ心なくしつ心なう飯中

14 08 11 むねいたつむねいたくのみ各保飯いたくい

たう保飯むねいたく麦阿中

14 08 11 おほさるればおほされければ飯おもほさる

れは麦阿

14 08 11 大かた大かたの麦阿ナシ中

14 08 12 この世のほかのやうにこのよの中に各ナシ

麦阿

14 08 12 とりのねも鳥のね麦阿おほかたとりのね

中

14 08 12 山のすゑふかきやまのすゑそ各やまのすゑ

そ保飯麦阿中

14 08 12 ゆかしういとゆかし各いぶかしう保ゆ

かしく飯麦阿

14 08 12 のみナシ各保飯阿中

14 08 12 いとくなりまさり給おほえ給各いとなり

まさり給飯おもほさるる麦阿中おもほさるる

中

14 08 13 心ちよけにいと心ちよけに各

14 08 13 うちつけに露けくのみみなされ給ほかの花

はかうちつけにつゆけつそみなし給ほか

のはなは保

14 08 13 うちつけにうちつゆに飯ナシ麦阿

14 08 13 露けくいとつゆけく各つゆけう保中  
 14 08 13 のみみなされそ見なし各保麦阿中のみ見な  
 され飯  
 14 08 14 ほかの花はひとへちりて八重さくちりにし  
 はなもまたさかりにはなき各  
 14 08 14 ひとへちりてひとつちりて保ひとへちり  
 てしつばおじつて中  
 14 08 14 花桜はな各さくらは保花は飯ら中  
 14 08 14 さかりすきてひらけ保さかりすき飯さか  
 りて麦阿  
 14 08 14 ひらけすき保ひらけさし麦阿  
 14 09 01 こそはナシ麦阿  
 14 09 01 そのナシ各保飯  
 14 09 01 をそくときおそき各おそきとき保麦阿  
 中  
 14 09 01 こころをよくわきて心をしりておもしろく  
 見とるあらせんと各保飯しりてしりつゝ  
 保飯におもしろくをもしろう保飯心をよ  
 くとりわきておもしろくみ所あらせんとて麦  
 阿中とりナシ中におもしろくおもしろう  
 中つて中  
 14 09 02 色ノノをつくしナシ各中いろノ保  
 飯  
 14 09 02 給しかはたまひしか各保飯給入るか麦  
 阿給入る中  
 14 09 02 時をいろノこと各各  
 14 09 02 みちたるみたる各  
 14 09 02 わか宮わか宮の麦阿  
 14 09 03 ひさしくひさしく各保麦阿中

14 09 03 帳き丁各麦阿  
 14 09 03 かたひらをかたひら各  
 14 09 04 風もかせ各飯風は保麦阿中  
 14 09 04 え吹よらしとふきよらしかと各えふきよ  
 らしなと保飯麦阿えふきあけしなとけ力  
 中  
 14 09 04 かしこつかしこく麦阿  
 14 09 04 思ひえたりと思ひよりたりと各保飯阿中思  
 よりたると麦  
 14 09 04 おもひてのたまふおほしたる各保飯麦阿  
 中おもほしたる麦阿  
 14 09 04 かほのさまの各御かほの保麦阿中御かほ  
 飯  
 14 09 05 いとつづくきにもいとつづくければ各  
 保飯おかしければ麦阿いとをかしければ  
 中  
 14 09 05 うちおまれうちおみ各保飯中うちわらひ  
 麦わらひ阿うちおみ中  
 14 09 05 給ぬ給て麦阿  
 14 09 05 人ナシ麦阿  
 14 09 05 いかしこつかしこつ各いとがしこく飯麦  
 阿  
 14 09 06 おほしより給入りしおほしよるなり各おほ  
 しよりたり保飯麦阿おほしおもほし麦阿  
 14 09 06 などナシ中  
 14 09 06 はかりをそを各保をそ麦阿をのみ中  
 14 09 06 もてあそひにもてあそひ各  
 14 09 07 きこえんきこえ待らん各聞え奉らん麦

14 09 07 こともこと各保  
 阿  
 14 09 07 のこりすくなしやのこりすくなしや先出  
 のニミセケチノ可能性アルガ、虫損ニテ不明  
 飯  
 14 09 07 いましはしさためなし今すこま麦削訂アル  
 力麦阿  
 14 09 08 かつらふへくともなからふとも各なから  
 ふるものなりとも保麦阿かたらふへくとも  
 飯  
 14 09 08 たいめんはたいめん各中たいめんは麦  
 阿  
 14 09 08 えあらしかしは入るまし各保麦阿中えあら  
 しかし飯  
 14 09 08 ととと各とても保飯  
 14 09 08 れいのナシ麦阿中  
 14 09 08 なみたくみうちなみたくみ保飯麦阿中  
 14 09 08 給入れはたまへは保飯中給を麦阿  
 14 09 09 おほしておほしつゝ飯おもほして麦  
 阿  
 14 09 09 事をこと中  
 14 09 09 まかノしうのたまふ又いまノしく麦  
 阿  
 14 09 09 ふしめになりて御その袖をふしめにて御そ  
 てをくすに保ふしめに御そてくすを中  
 14 09 10 ひきまびへりなとてしつゝまきびはしひきま  
 びへりてまきびはして各麦阿中まびへりてま  
 びへりつゝ中ひきまびはしてしつゝ保飯  
 14 09 10 すみのまはしのま各院はすみのま麦

阿  
 14 09 11 おしかゝりてをしかりたまて保飯(たまて給て飯)  
 14 09 11 おまへの庭をもみすのうちをもみわたしてな  
 かね給ふ女房なともみすのあきたるより見  
 いたまへは各  
 14 09 11 おまへの御まへの飯中御前の麦阿  
 14 09 11 みわたしてみわたしたまつゝ保見わたしつ  
 〃飯中見まはしつゝ麦阿  
 14 09 12 なともなどの保などの中に麦阿(なとも)中  
 14 09 12 御形見の色かへぬ御方のはかたみの色かは  
 らぬ麦阿  
 14 09 12 れいの色あひまたれいのいろあひなと保ま  
 たれいのいろある飯中  
 14 09 12 あやなとあやしう各あやなとは飯  
 14 09 12 はなやかにあらすはなやかならす保飯は  
 なやかにあらす中  
 14 09 13 御なをしも御なをしなとも各保飯麦阿中御  
 なほしなともをノ上カラほつ書クカ保  
 14 09 13 なれとなれとも中  
 14 09 13 ことならことならに各保飯麦阿中(こと)に各  
 14 09 13 やつしてやつし給て各  
 14 09 13 むもんをむもんをそ各むもんにて麦  
 阿  
 14 09 13 たてまつれりたてまつりたる各奉り給へり  
 麦阿  
 14 09 14 御しつらひおほむしつらひ保

14 09 14 いとおろそかに事そきてさひしくものさひ  
 しうことそきてみわたされて各をつから  
 ものさひしうことそきたるけはひにみわたさ  
 れて保飯麦阿中をつからいとおろそかに  
 飯(さひしう)さひしく麦阿(こと)そきたる事  
 そいたる中(に)みわたされてに見はたされて  
 麦わたされて阿(に)みえわたされて中(に)  
 14 09 14 心ほそけにしめやかなれはしめやかに心ほ  
 そければ各保飯麦阿中  
 14 10 02 春のかきねを春のかきねをと保飯  
 14 10 02 人やりならずひとりやりならず飯  
 14 10 03 かなしうナシ麦阿  
 14 10 03 おほさるゝおほしやる各中おほしやら  
 る保おもほたる飯おもほしやるゝ麦  
 阿  
 14 10 03 いとつれ／＼なれはつれ／＼には麦いとつ  
 れ／＼には阿  
 14 10 03 入道の宮入道宮麦阿  
 14 10 03 わたり給にわたり給各保中おはします麦  
 阿  
 14 10 03 わか宮もわかみや保飯麦阿中  
 14 10 04 いたかれていたかれ各いたかれたまひて  
 保いたかれたまへり麦阿中  
 14 10 04 おはしましてナシ各麦阿中  
 14 10 04 わか君とわかきみは各わか君とふた所麦阿  
 中  
 14 10 04 はしりはしに各  
 14 10 04 あそひあそひたまひて各保飯麦阿中  
 14 10 04 花おしみはなをゝしみ各中花をゝしみゝ

アルカ飯  
 14 10 04 給給へる麦阿  
 14 10 04 心はえともこころはへもけに各こころ保  
 中御心はへとも飯心はえ麦阿  
 14 10 05 ふかゝらすふかけにもあらす各保麦阿中心  
 ふかゝらす飯  
 14 10 05 いとナシ各中  
 14 10 05 いはけなしはかなし保  
 14 10 05 宮あま宮各  
 14 10 05 おまへにて御まへにて保飯御前にて麦阿中  
 14 10 05 経をそきやつ中  
 14 10 05 なのはかりふかうなにはかりふかく各いか  
 はかり麦阿  
 14 10 06 おほしとれるおほしとりける飯おもほしと  
 りたる麦阿おほしとる中  
 14 10 06 御道心にもたうしむにも各中御心にも  
 飯  
 14 10 06 あらさりしかともあらさりしかと各保飯  
 中  
 14 10 06 うちらめしくうちらめしう各保飯麦阿中  
 14 10 06 御心みたるゝ心にまきるゝ各心まきるゝ麦  
 阿心みたるゝ中  
 14 10 07 おはせすことにおはせす各保飯むけにおは  
 せす麦むけにおはす阿  
 14 10 07 まんにまんに飯  
 14 10 07 まきれなくまきれなう保飯ナシ中  
 14 10 07 ひとかたにいつかたにも各ひとつかたに  
 飯

14 10 08 おもひはなれ給へるも おもほしはなれたる  
も各世をおほしはなれたるも保飯世をおも  
ほしなりたるも麦阿たるもたる阿よを  
おほしなるかたも中

14 10 08 いとナシ保飯

14 10 08 うらやましくかくうらやまし各麦阿うらや  
まじうかく保うらやまじうかく飯うらやまし

中

14 10 08 あまへ給へるあさへたるへき各中あさえ  
たまへる保あされたる飯あさかるへき麦阿

14 10 08 女のナシ中

14 10 08 御心さしに御心に各中心さしに麦阿

14 10 09 たにナシ各保も麦阿さうら中

14 10 09 をくれぬることくちおしうをくれたるか  
なと各おくれにたりと麦阿おくれぬること

中

14 10 09 おほさるおほす各保麦阿中 おほえす飯お  
もほす麦阿

14 10 09 あかのあか君阿(下あか)の中

14 10 09 いとナシ麦阿中

14 10 09 おもしろくおもしろく保飯

14 10 10 みゆれはみゆれと麦阿

14 10 10 春にはるのさかりに保花に飯春のさかり  
に麦阿中

14 10 10 心を各保飯麦阿

14 10 10 人なくて人のなくなりて飯人もなう  
中

14 10 10 すさましくすさましく各中

14 10 10 のみナシ各保麦阿中のみ飯

14 10 10 みなざるをみゆるを中

14 10 11 御かさりにて御さかへは各御さかりにて  
阿御かさかりにて中

14 10 11こそかくこそ各ナシ保

14 10 11 みるへかりけれと侍りけれなど各有へか  
りけれと麦有へけれと阿侍へかりけれなど

中

14 10 11 の給ての給中

14 10 11 まへのひんかしおもてなる各保飯麦阿

14 10 11こそ猶こそは麦阿

14 10 12 なれなれ保

14 10 12 なとよと麦阿

14 10 12 しなたかくなとはきてさりけるしなのか  
たはおくれたりける各よしあり名たかくは  
をきてさりけん麦阿

14 10 12 たかくたかう保飯

14 10 13 あらんナシ各

14 10 13 はなやかにふさやかに各麦さやかに  
阿

14 10 13 にははしきかたはにきわしくそさきた  
るなん各にきわしうさいたるなん保中さ  
いたるさきたる中かうはしく味たるなん  
麦阿

14 10 13 いとおもしろき物になんありけるおもしろ  
かりける各保麦阿中すくれてなむおもしろ  
かりける飯

14 10 14 春ともはるとも各けるとも飯

14 10 14 すらすかほにてみし各すらすかほにて

保しらて麦阿中

14 10 14 かさねたるかさねて侍中

14 10 14 こそしもこそ飯

14 10 14 あはれに侍とあはれには入れと各保あはれ  
なれと飯麦阿あはれにと中

14 11 01 の給のたふは各の給なすを麦阿

14 11 01 御いらへに谷には春もとなに心もなくきこえ  
給をナシ麦阿

14 11 01 御いらへに谷には春もとなに心もなく御  
いらへにはなにごろもなくなたにやははる  
もと保つるてになに心なくたにやは春もと  
飯

14 11 01 なに心もなくなに心なく各なに心もなう  
中

14 11 01 きこえ給をのたまへるを各のたまふを保飯  
中

14 11 01 心うくもとくうくくと各麦阿あな心うと  
保

14 11 02 おほさるおもほしめざる麦阿

14 11 02 つけても各

14 11 02 まつまつ各ナシ飯

14 11 02 かやうのかうやうの保

14 11 02 ことにつけてはことにつけて各ことをも  
保ことにつけても飯麦阿中

14 11 02 ことのごとこそ各ことと麦阿

14 11 02 さらてもありなむかしの思ふにたかふしな  
くてもさらてもとみ給ふしなくて各さら  
てもとくろにたかふしなくて保さ  
してもと心にたかふしなくても飯さし

てみゝにもめにもたかふしなくて麦阿さ  
 らてもとみるにたかふ事なくとも中  
 14 11 03 かなとかな各麦阿中  
 14 11 04 程よりのほとより各麦阿中御ほとより  
 保御ほとよりの飯  
 14 11 04 御ありさまをいてナシ各保麦阿中ありさま  
 をいて飯  
 14 11 04 なに事そやなにことにつけてもかたをなり  
 したことや各なに事そやかたはなりしこと  
 や保なに事そかたほなりしことや飯つちし  
 めりかたはなりしこと何事が麦阿何事そや  
 かたほなりしこととは中  
 14 11 04 ありしと有けんと麦阿ナシ中  
 14 11 04 おほしおもほし飯麦阿  
 14 11 04 いづるにはいづれば各麦阿いづれと保  
 中  
 14 11 04 そのおりそのおりも中  
 14 11 05 かのおりかのをりに保飯かのをりも  
 中  
 14 11 05 かとノノしついとかとノノしつ飯  
 14 11 05 うつうつうつうつうたけに各保麦阿かつノノ  
 しつ飯うつうたけに各保麦阿かつノノ  
 中  
 14 11 05 句おほかりしにほひやかになりし各飯にほひ  
 はなやかなりし保中にほひはつかしけなり  
 し麦阿  
 14 11 05 心さま御心さま各保飯ことさま麦阿ナシ  
 中  
 14 11 05 もてなし御もてなし中  
 14 11 05 ことの葉ナシ麦阿中

14 11 05 のみのみそ各々と麦阿などのみ中  
 14 11 06 思ひつゞけられ給ふにおほしいてられて各  
 保麦阿おほしおもほし保麦阿おほしいて  
 られ給に飯おほしいづるに中  
 14 11 06 涙もろさはもろき御なみたは各保飯もろき  
 涙麦阿もろき御なみた中  
 14 11 06 ふとナシ各保飯麦阿中  
 14 11 06 こほれいてぬるもいとくるしこほれぬ各保  
 麦阿中  
 14 11 06 ゆふくれのれいのゆふくれの各ゆふへの  
 中  
 14 11 07 霞かすみも保飯中  
 14 11 07 たとノノしくナシ各保麦阿中たとノノしう  
 飯  
 14 11 07 ほと比麦阿  
 14 11 08 ひさしうひさしく麦阿  
 14 11 08 さしものそきさしのそき各飯麦阿中  
 14 11 08 のそきのそい保  
 14 11 08 給はぬにたまはぬを保飯  
 14 11 08 おりなれはほとなれは中  
 14 11 09 さまよつげはひ心にノノいとさまひ心に  
 くきはひ各保麦阿中よへよつ保にさまひ  
 う心にノノ飯  
 14 11 09 もてつけてもてつけたるを各もてつけ  
 中  
 14 11 09 なをナシ麦阿  
 14 11 09 こそこれこそ各こそは保飯麦阿こそこと  
 に中  
 14 11 09 まさりたれとことなれと各まさりけれと

飯  
 14 11 09 つけてはつけても各も麦中ナシ阿  
 14 11 10 かうさまにはかうさまに中  
 14 11 10 あらてあらす各麦阿中  
 14 11 10 かれはさまことにかれはことさまに保それ  
 はことさまに飯かれはことなりしを麦阿か  
 れは中  
 14 11 10 こそゆへよしをももてなし給入りしかとおほ  
 しくらへらるゝにもナシ麦阿  
 14 11 10 こそナシ中  
 14 11 10 ゆへよしをもゆへをもよしをも各中ゆえを  
 ちよしをも保  
 14 11 10 もてなしもてつけ保  
 14 11 10 給入りしかと給入りきかして中  
 14 11 11 くらへらるゝにもくらへらるゝに各くらへらるゝ  
 へに保いてらるゝに中  
 14 11 11 恋しうかなしを恋しを各保飯麦阿こひこと  
 おほしいてらるゝに恋し中  
 14 11 11 まされはまさり各まさるは保中まさる  
 飯まさりつゝ麦阿  
 14 11 12 なくさむへきなくさむへき保  
 14 11 12 心そといとこころそとおほすも各心そと  
 飯心ちそ麦阿事そと中  
 14 11 12 くらへくるしうくるし各くらへくるし  
 (てう)「こそノ上カヲシヲ書イテしてトス  
 ルカ、ハオノ書キ始メカ保くらへくるし  
 飯くらへくるし麦阿  
 14 11 12 こなたにてはこなたにて麦阿  
 14 11 12 むかし物かたりものかたり各

14 11-13 などナシ各保麦阿など飯  
 14 11-13 あはれと哀に麦阿  
 14 11-13 心を麦阿おもひ中  
 14 11-13 ととめむはとめんは各ととめんも保飯中と  
 めんも麦阿  
 14 11-13 わるかへき わるかへき各麦阿中 わるかへ  
 き保 はりなかるへき飯  
 14 11-13 ことゝわさと各麦阿中 わさと保飯  
 14 11-13 いにしへよりむかしより各保飯むかし麦  
 阿むかいらししへより中  
 14 11-14 思ひえてすへておほえてすへて各保飯麦  
 阿おもほえてすへて麦阿おもひすへてへえ  
 てすへて中  
 14 11-14 この世にこのよを各このよには保  
 14 11-14 しぶしう各飯麦阿  
 14 11-14 とまるへき事なくととまるましき各とまる  
 へきことなくと保飯ととまるへきことなう  
 麦阿  
 14 11-14 心つかひを心つかひ各保飯中  
 14 12-01 つけて付ても麦阿  
 14 12-01 はふれぬへかりしなりぬへき麦阿  
 14 12-01 とさまトトとさま飯  
 14 12-02 かつさまにかつさま飯  
 14 12-02 めくらししてめくらすに麦阿まはしに  
 中  
 14 12-02 命をもいのちも中  
 14 12-02 すてつへくすてつへく各飯中  
 14 12-02 野山山登  
 14 12-02 すゑにあなたのすまひにも各すへにも麦

阿  
 14 12-02 はぶらかさんにナシ各こころをもはぶらる  
 さんに保心をもはぶらかさむに飯中 身を  
 ぶらかさんに麦身をはぶらかさん阿  
 14 12-03 さはりところほりも保麦阿さはりも飯と  
 へこぼるこころ中  
 14 12-03 あるましくなむおもひなりしをすゑの世に  
 いまはかぎりの程ちかき身にしてしもあるまし  
 きあるまじかりしに麦阿  
 14 12-03 あるましくあるまじ中  
 14 12-03 世によしも保中  
 14 12-04 身にしてしもみにしも各身にさも保身に  
 飯身にさしも中  
 14 12-04 あるまじきさるましき飯  
 14 12-04 おほうナシ各おほく飯麦阿  
 14 12-04 かゝつらひてかゝつらひつ各中 かゝつ  
 らひて麦  
 14 12-04 すくしてけるかすくしける各麦阿中すこし  
 てける飯  
 14 12-05 心よはつもこころよはく各保麦阿中 心よは  
 くも飯 心よはつ中  
 14 12-05 ひとつすすのひとすすの各保中 ひとつの  
 飯一すすの麦阿  
 14 12-05 かなしさののみはかなしさをはさたかに各  
 麦阿 かなしさには保飯 かなしさをさらにも  
 中  
 14 12-06 の給はねとの給はねは麦阿の給はねとも  
 中  
 14 12-06 おほしたるおもほしたる保おもほしめた

る麦阿おほしよる中  
 14 12-06 さまのさま各麦阿さまを保飯中  
 14 12-06 心くるしきをナシ各保飯麦阿中  
 14 12-06 いとおしういとをしく飯  
 14 12-06 みたてまつりてみたてまつり給各保飯中み  
 奉り給て麦阿  
 14 12-07 人めに人のめに各人めにも麦阿人めは  
 中  
 14 12-07 なのはかりおしけなき人たに心の中のほたし  
 をのつからおほう侍なるをましていかてかは  
 心やすくもおほしすてんさやうにあさへたる  
 事はかへりてかるノしきもとかしきなとも  
 たちいてゝなかノなることとはへるをお  
 ほしたつほとにふぎやうに侍らんやさはか  
 りおしうあたらしき御有さまなりしをことは  
 りも過てこそされと又おもほしすつましき御  
 さまとおほくいておわするをいか御心つ  
 よくはざりともいかならん山にも此宮たちの  
 へたて聞えさせ給てはなと涙くみてさまよく  
 いひなす物さはかく心のまゝなる人は中ノ  
 へあさましくなるためしも侍るなるをいそか  
 め御事にてこそ麦阿  
 14 12-07 心の中のほたし心のうちのほたしともは  
 各こころのうちのほたしは保飯中  
 14 12-07 おほうおほかるものに各保飯中  
 14 12-08 侍なるを侍るを各飯はへなるものを保  
 14 12-08 ましてまいて中  
 14 12-08 心やすくもこころやすく保飯中

14 12 08 おほしすてんおほしめさむ各おほしすてん  
 中  
 14 12 08 あさへたるきこえぬる各あさえぬる保  
 中あたえぬる飯  
 14 12 08 かへりてとりかへし各中  
 14 12 09 かる／＼しきかる／＼しく各かる／＼しき  
 飯かる／＼しう中  
 14 12 09 なんともの各などの保ななどの飯は  
 中  
 14 12 09 たちいてゝたちまじること各たちいつる  
 も保飯たちいつること中  
 14 12 09 なか／＼なることなど中／＼なるへきこと  
 に各保飯中  
 14 12 09 はへるを侍を保侍へきを中  
 14 12 10 おほしたつおもほしたつ飯  
 14 12 10 ほとほとに各飯ほとこの保  
 14 12 10 にぶきやうにいふせう各さやうに飯にぶ  
 きやう中  
 14 12 10 侍らんやならんはまた各中へらんはまた  
 保飯  
 14 12 10 させナシ麦阿  
 14 12 10 給給はん各保飯麦阿中  
 14 12 10 かたかたも麦阿  
 14 12 10 ぶかうはへらむとさまぶかくなとこそは  
 各さまもぶかうなとこそは保飯甲ぶかうあ  
 さぶかう飯ぶかく麦阿  
 14 12 11 侍てこそ侍れ各麦阿侍りぬへけれ保飯侍  
 つけれ中  
 14 12 11 ためしなとをふしめしなとを飯ためしも

麦阿  
 14 12 11 きく侍につけてもきく侍るにも各中侍るな  
 るを麦阿  
 14 12 11 心に心中  
 14 12 12 おもふよりおもふに各飯おもひより保給  
 より麦阿心より中  
 14 12 12 ふしありてふしなしとわひて麦阿ふつし  
 などありて中  
 14 12 12 ついてになるとかそれは猶わるき事とこそつ  
 いてになとこそはつねの事なれ各人おほく  
 聞え侍れとそれにもよらすかくて麦阿  
 14 12 12 それは猶それこそ保中  
 14 12 12 わるき事とこそわるきとこそ飯わらうもあ  
 ること中  
 14 12 13 なをしはしなをしはしは各保飯ナシ麦阿  
 14 12 13 おほしおもほし飯麦阿おもひ中  
 14 12 13 のとめさせ給てのとめて各飯中のとめ  
 与給力保のとめても麦阿  
 14 12 13 宮たちなともみやなとをも各宮なとも  
 中  
 14 12 13 宮たちなともをとなひさせ給てまことにつ  
 きなかるへき御ありさまにみたてまつりなさ  
 せ給はむまてはみたれなく侍らんこそ心やす  
 くもつれしくも侍へけれなとかの御ため我  
 のちのよをつとめさせ給はん何のとこほ  
 りか侍らん仏の御ちかひはたのものかなる物  
 を今宮たちおとなひさせ給て心やすくみ奉り  
 おかせ給てこそめやすきさまならめと麦阿今

宮たち今宮たちも阿  
 14 12 13 をとなひさせ給ておとなしく各すこしお  
 とな／＼しう保すこしおとなひさせたまひ  
 飯おとな／＼しう中  
 14 12 14 うこき世のうこき各よにうこき保飯中  
 14 12 14 御ありさまに御ありさまを各保飯中  
 14 12 14 みたてまつりなさせ給はむまてはみたて  
 つりたまふまて各飯みたてまつたまふまて  
 保みたてまつらせ給て中  
 14 12 14 みたれなくみたれなう保  
 14 13 01 心やすくもめやすくも各保中  
 14 13 01 うれしくもナシ各うれしくも保飯中  
 14 13 01 をとなひておとなしく飯  
 14 13 01 きこえたるきこえ給各保飯中聞え給へは  
 麦聞えさせ給へは阿  
 14 13 02 けしきいとめやすしナシ各保麦阿中けしき  
 めやすし飯  
 14 13 02 さまてさまてはと麦阿  
 14 13 02 おもひのとめむおもひのとめ中  
 14 13 02 あさきあさき各あささま麦あさま阿  
 14 13 02 をとりぬへけれなとおとりぬへかりけれな  
 と飯おとり侍へけれと麦阿  
 14 13 03 の給てのたまて保  
 14 13 03 物をもの各麦阿中ナシ保  
 14 13 03 おもふことなどおもひしふるおり／＼のふ  
 ること各思ひしをり／＼のふることなど保  
 飯中おもふ時々のふる事麦阿

14 13 03 かたりかたみの給てヲ削ッテかたりヲ書ク

飯

14 13 03 なかに中に各麦阿うち飯

14 13 03 故後の宮のかの入道の宮中宮の各ここにう

たつのきさいの宮保こ入道の宮飯大后宮麦

阿大古イ后宮阿お輝故きさいの宮中

14 13 04 給へりし給ひたりし各たまし保飯麦阿

中 給し飯麦阿中

14 13 04 色をいる保中

14 13 04 まことにことに各麦阿

14 13 04 あらはとあらはなと保

14 13 04 おほえしそれはおほえし各思しめれば麦

阿

14 13 05 おほかたの世おほかた各

14 13 05 おかしかりしとおかしかりし各おしかり

し麦阿中

14 13 05 御ありさまおほむありさま保

14 13 05 をさなくよりおさなき程より各をさなか

りしときより保飯おさなきおりより麦阿

中

14 13 05 みたてまつりしみてみたてまつりし各み奉

りしめて麦阿

14 13 06 ことにことに麦

14 13 06 おほえしおほえし給し各保麦阿中おほえお

もほえ麦阿しおほえし飯

14 13 06 なりナシ中

14 13 06 とりわく心さしにもとりわく心さしにしも

飯とりいてわくへき心さし麦阿とりわくへ

き心さしにも中

14 13 07 よらぬかさならぬ麦阿

14 13 07 わきこと各中

14 13 07 としとしこる各保飯麦阿中

14 13 07 へぬるへたる各

14 13 07 心心の各

14 13 07 おさめむおさむる中

14 13 07 かななくかたなき各かたなつ中

14 13 08 わすれかたきもわすれかたさを各

14 13 08 なかの飯

14 13 08 かなしさかなしきに中

14 13 08 のみにはのみにては飯には麦阿のみは

中

14 13 08 あらすあらて保飯麦阿中

14 13 08 をさなき程おさなつ中

14 13 08 おほしたてしおほしたて侍りし各おほした

てし飯

14 13 09 ありさま有さまも麦阿

14 13 09 うちすてられてうちすてられたる各麦阿

中うちすてられぬる保飯うちすてられたる

(つ)中

14 13 09 わか身も人の身もおもひつゝけらるゝナシ

麦阿

14 13 09 人の身も人のよもかたみに各ひとのよもさ

まゝにこそ保ひとの身もまゝに飯人

の(身)もかたみに中

14 13 10 おもひつゝけらるゝおもひつゝける中

14 13 10 たへかたきにたへかたう各

14 13 11 すちナシ中

14 13 11 ひろつひろく各麦阿つひろつ中

14 13 11 おもひめくらす心めくらす阿思めくらす

中

14 13 11 方ナシ保飯麦阿中

14 13 11 かたゝそふ事のそふ各

14 13 11 あさからすあさからすは保飯

14 13 12 なるおもはるゝ各

14 13 12 ありけるなどありけると飯

14 13 12 夜ふくるよふくる各保中

14 13 12 御物かたり物語麦阿

14 13 12 かくてもあかしつへきかくてもあかしぬへ

き飯かくてもあかさまほしく麦阿かくてもあ

かしつへい中

14 13 13 よをとをと各よをなと保ナシ麦阿

14 13 13 おほしおもひ各おもほし麦阿

14 13 13 かへり給をかへりわたり給は保かへりわた

り給も麦阿返わたり給中

14 13 13 女もナシ麦阿女中

14 13 13 物あはれにおもふへしあかすものあはれな

り各ものあはれなり保物あはれにをほゆへ

し飯中あわれ也麦阿ものあはれなりにお

ほゆへし)中

14 13 13 御心御心ち麦阿

14 13 14 あやしうもあやしう各麦阿あやしくも

飯あやしく麦阿

14 13 14 心のほとりころ中

14 13 14 おほししらるるまてても又おほして各麦阿おほ

しつゝ保中おもほして麦阿

14 13 14 御をこなひにをこなひの程に麦御おこなひ

のほとり阿

14 01 夜なかによ中はかりに各よはなかはに保飯  
麦阿中よは夜は麦阿

14 01 なりてそふけぬれば麦阿

14 01 おましに御ましに中

14 01 いとぎと各

14 01 かりそめにかりそめにて保飯

14 01 よりふしあかし保ふし麦阿中

14 01 御ふみあかしの御かたに御文麦阿

14 02 たてまつりたてまつれ保中

14 02 給に給保飯麦阿中

14 03 かへりにしかなかへりにしかな保麦阿

14 03 かりの世はかりのよぢや力飯

14 03 いつこもついのいつくもつゐの各保飯麦阿  
中

14 03 とこよなびぬとこよなならぬは各とこよな  
らぬに(を)保とこよならぬとあるを見給

14 03 よへのかへらせ給しよへの中

14 03 御ありさまは御けしきは麦阿御ありさまも  
中

14 04 うらめしけなりしかとうらめしかりしと  
も麦阿うらめしけなりしかとも中

14 04 かくかう保飯麦阿中

14 04 あらぬさまにナシ各保飯中 まで保飯

14 04 おほしほれたるおほしほれたる各中 おほ  
したる飯麦阿おもほしたる麦阿

14 05 心くるしさに身のうへはさしをかれて涙くま  
れたまふ心くるしさに身のうへはさしおか  
れてなみたくみつゝ麦

14 05 身のうへはみのうへも各わかみのうへは保  
飯

14 05 さしをかれてさしをきて各

14 05 涙くまれたまふなみたくみ給各飯中 なみた  
くみて見給保なみたくみつゝ麦阿

14 06 かりかゝるしかりかのいひゆるい麦阿

14 06 ふりかたくふりかたう各保飯中

14 07 かきさまにもかきさまなどを見たまひつゝ  
もいにしへの事おほしいつゝ各保飯麦阿中か  
きさまと中なとをなりと飯など麦阿を  
中見たまひつゝもみたまひつゝ保飯中み  
給て麦阿おほしいつゝおほしいつゝに保  
飯麦阿おもほし出るに麦阿おほしいつゝ中

14 07 なまめさましき物になまめさましう麦阿な  
まめさましう(い)もの中

14 07 おほしたりしをおほしたりしか各麦阿お  
ほしおもほし麦阿おもひたまへりしか保  
飯おほいたりし中

14 07 かたみにナシ麦阿

14 08 心はせをこころさまを各心を麦阿心はへ  
在中

14 08 みしるとちにてみしりてひとへに各しると  
もにて麦阿

14 08 うしろやすきうしろやすい中

14 08 かたにはさまに各保飯麦阿中

14 08 うちたのむへくうちたのむへきかたと各う  
ちたのむかたには保飯うちたのむへきかた  
に麦阿うちたのむへいかたは中

14 09 給ひなからナシ各保飯中なから麦阿

14 09 またさりとてひたふるにはたナシ麦阿

14 09 ひたふるにはたいとしも各保飯中

14 09 ゆへありてさすかにゆへありて各麦阿  
中

14 09 たまへりし給へりし麦

14 10 心おきてを心をきてをは麦阿

14 10 さしもえ各保飯麦阿中さしも飯

14 10 みしらざりきみざりき中

14 10 かしナシ麦阿

14 10 おほしいつおもほし出麦阿

14 10 せめてせちに各保

14 10 さつ／＼しき時はかやつにたつおほかたに  
れ／＼なるおりは御かた／＼にかやつにも  
各さつ／＼しきときこのおほかたにはと  
き／＼かやつにも保中おほかたには御か  
たには中とき／＼かやつにもかやつにも  
とき／＼中さつ／＼しくおもほさるゝには  
此御かたにかやつに麦阿

14 11 うちほのめきほのめき保うちほのめ  
麦

14 11 おり／＼もありむかしの御ありさまにはな  
りなくなりにたるへしナシ各保飯麦阿中

14 11 おり／＼もをりも飯

14 11 御ありさまには御ありさまは飯

14 12 御衣かへのころもかへの各保飯麦阿

14 12 御さうそくさうそく麦阿中

14 12 たてまつりたてまつれ保

14 14 けふはかりけふよりははかり(飯)  
14 14 ふるき思ひもふるきおもひを各ふかきお  
もひも保中ふかき思の飯ふるきおもひの麦  
阿ふか(る)きおもひも中

14 14 すゝみやはせぬすゝめやはせぬ各すゝみや  
はせぬとある麦阿

14 14 御返御かへり各御返し麦阿

14 15 01 は衣のうすきにかはるぬきかふるうすゝみ  
こも各

14 15 01 まつりの日まつりの日なと保飯中まつりの  
日なとある麦阿

14 15 02 けふはけふの各保飯けふ麦阿中

14 15 02 物みるともものみる各保飯麦阿ものみに  
中

14 15 02 人々ひと／＼の中

14 15 02 心ちよけならむかして心ちよけならんな  
と各こゝちよけならんや保心ちよけならんや  
麦阿こゝちよけならんや中

14 15 02 みやしるののみやしる各とこゝろ／＼の保御  
やしるの飯

14 15 02 ありさまなとありさま各中有様なと  
麦

14 15 03 おほしやるおほしやるの保おもほしやるる  
ゝにも麦阿

14 15 03 女房なと女はうなとは各女かたなと  
中

14 15 03 いかにナシ麦阿

14 15 03 さう／＼しからむとてさう／＼しからん  
とおもはせは麦阿さう／＼しからん中

14 15 03 しひていてゝみよかしものして見にいた  
ゝん各しひていてゝみるもあれかし保忍  
て物見にゆかんに何かくるしからん麦阿し  
のひてものみにさへいてたるもあらん中

14 15 04 なとと麦阿

14 15 04 の給の給飯の給て中

14 15 04 中将の君の中将の君各保飯麦阿中将は  
中

14 15 04 したるをしたるに各したるを中  
14 15 04 あゆみナシ麦阿

14 15 05 おかしきおかしけなる麦阿をかし中

14 15 05 さましてさまにて各めさまして中  
14 15 05 おきあかりたりおきあかりたる保飯麦  
阿

14 15 05 つらつきつらき飯

14 15 05 はなやかにいとはなやかに保飯中  
14 15 06 にほひたるかほをもてかくしてにほひたる  
おもてかくしたり麦阿

14 15 06 かほをかほ各中かほゝ飯

14 15 06 もてかくしてふところにもてかくして  
保

14 15 06 すこしいさゝか各保飯麦阿中  
14 15 06 ふくたみたるふくみたる各麦阿中

14 15 06 かみのかみの保  
14 15 06 かゝりかゝりも各保中

14 15 06 なといと各保飯麦阿中  
14 15 07 くれなるのくれなひのきめ麦阿

14 15 07 きはみたるけそひたるはかまいときはみた  
14 15 07 きはみたるけそひたるはかまいときはみた

るひとかさね各すこしきはみたるけそひた  
るきめとも保飯麦阿そひたる(う)そひたる  
保(き)ぬともはかまきぬともは飯(衣)とも麦  
阿(

14 15 07 くわんざういろのひと／＼ナン各くわんざう  
いろひと／＼の保飯くはむといろのひとへに  
麦くはたさうの色のひとへに阿

14 15 07 いとナン中  
14 15 07 こきくろきくろ各きくろに保飯くろきにほひ  
の麦阿

14 15 08 にひ色にひ色の各(う)にひ色をうは  
きて保飯麦阿(う)にひ色を(う)にひ色を  
るを飯(忍)ひ色を阿(

14 15 08 くらきなとつるはしからすかさなりてナシ  
各保飯麦阿

14 15 08 裳からきぬももからきぬ各もからきぬは保  
飯麦阿中

14 15 08 ぬきしとけなく各しとけなくぬき保飯麦  
阿しとけなくしとけなく麦阿(う)とかくいと  
しとけなうぬきくはて力(中

14 15 08 すへしたりけるをすへしたり各保中すへし  
たる飯すへしたりけり麦阿

14 15 09 とかくとかう保麦阿  
14 15 09 をきたりけるをうちおいたりけるを保飯(う  
ち)おい(う)ちをき飯(う)をきたるを麦阿

14 15 09 よりてナシ各陽保飯麦阿中  
14 15 10 いかにとかや(う)いか(う)と各保飯麦阿中

14 15 10 このなこそこのかさしなな(う)各保飯麦阿  
由かさし(う)かさしに飯(う)これかな(う)陽

14 15 10 わすれにけれ わすれにけり各陽保飯麦阿  
 中  
 14 15 10 の給へはの給へは中将君麦阿  
 14 15 11 けふのかさしやけふのかさしや保けふのか  
 さしの麦阿  
 14 15 11 名さへわするゝと名さへわするゝ飯八を  
 削ツテわするゝ後出るヲ書ク「各飯  
 14 15 11 はちらひてはすしらひて飯つちはすしらひ  
 て麦阿  
 14 15 12 きこゆけにときこゆるけに各保きこゆるを  
 けにと飯聞ゆるに麦阿きこゆけに中  
 14 15 12 いとおくつていとをことおほして各いとを  
 かしくて陽麦阿いといとほしくて保飯中  
 といかして麦阿いとゝをしつて中  
 14 15 13 あぶひは猶やあぶひをなをや飯  
 14 15 13 つみおかすへきつみをかゝすイメキ阿  
 14 15 13 などなを各中などの給て麦阿  
 14 15 13 ひとりばかりをひとり許は各保飯中猶人  
 よりは麦阿  
 14 15 14 おほしおまほし麦阿  
 14 15 14 はなためはなれぬ各保はななぬ飯  
 14 15 14 けしき御気色各保麦阿御けしき保けは  
 中  
 14 15 14 さみたれはさみたれには麦阿  
 14 15 14 いとゝいとゝいとゝ各  
 14 15 14 給給事麦阿  
 14 16 01 さつゝしきにつれゝなるに麦阿  
 14 16 01 十日の月十日の月の保とほかの月  
 飯十日の月の麦阿

14 16 01 はなやかにいとはなやかに各  
 14 16 01 雲まのくも各陽  
 14 16 02 大将の君大将の君など各保飯麦阿中大将の  
 君大将君麦阿「  
 14 16 02 おまへに御まへに陽飯御前に麦阿中  
 14 16 02 きはやかに花やかに麦阿中  
 14 16 02 みゆる見ゆるに飯  
 14 16 03 かほりもかほりくる各保飯麦阿中  
 14 16 03 をひ風おひかせも各麦阿中  
 14 16 03 なつかしければことになつかしければ各保  
 飯  
 14 16 03 ならせるならせらる各  
 14 16 03 せなんととと保飯  
 14 16 03 またるゝ侍る本下傍記「飯  
 14 16 03 程にはかにほとにはかに「ヨヨムカ」  
 各  
 14 16 04 にはかにほるかに麦阿  
 14 16 04 けしきいとけしきいましも各けしきもいと  
 保飯  
 14 16 04 いとおとろゝしつふりくる雨にそひてさ  
 とぶく風にとろろもふきまとはしてとかく  
 ふきまとはしてととふりてたるむらめ  
 各  
 14 16 04 いとおとろゝしつふりくる雨にそひてナ  
 シ保麦阿  
 14 16 04 いとおとろゝしつをとろゝしく陽飯  
 中おとろゝしつ中  
 14 16 04 ふりくるふりたる陽

14 16 05 さとナシ陽  
 14 16 05 風にふるに保いみしうふるに麦  
 阿  
 14 16 05 とろもとろる麦阿  
 14 16 05 ふきまとはしてふきまとはして保飯まよは  
 してけり麦阿  
 14 16 05 そらくらきそらくらくなる各そらくらき  
 陽いとへらぎ麦阿  
 14 16 05 まとをまと各中ふかきまと麦阿  
 14 16 06 なることをふること各中ふることも保麦  
 阿ふることゝも飯  
 14 16 06 うちすしうちすし各陽飯中  
 14 16 06 給へるも給も各たまへるは保飯給麦  
 阿  
 14 16 06 おりからにやおりからや麦おりから也  
 阿  
 14 16 06 いもかかきねにいもかきゝねに飯  
 14 16 07 をとなはせまほしきおとせまほしき保  
 14 16 07 ひとりすみはひとりすみ各阿  
 14 16 07 ことにかはることかはる中  
 14 16 07 なけれとなけれと麦阿  
 14 16 08 あやしうナシ各保麦阿中あやしう飯  
 14 16 08 さつゝゝしつそありけれおつゝゝしつも  
 あるかな各保飯麦阿中おつゝゝしつも  
 〆〆〆も飯麦阿「あるかなあるかな保  
 中おつゝゝしつそありけれ陽  
 14 16 08 せんにもせむにも各せんにも麦せんも  
 中

14 16 08 かくて かう飯中 かく中  
 14 16 08 身を 心を陽  
 14 16 08 ならばしたらむはならばしたらんには麦  
 阿 ならばいたら中は  
 14 16 09 こよなうこよなく飯麦阿  
 14 16 09 心すみぬへき 心すみぬへき中  
 14 16 09 わさなりけり わさにこそありけれ各 わさな  
 りけれ保 わさなり飯麦阿  
 14 16 09 など なんと陽と保飯中  
 14 16 09 の 給ての たまて保  
 14 16 09 女房 女はうめして各 女はうは陽 女はうな  
 と保 女房などは飯 女房ともに麦阿 女房な  
 と中  
 14 16 09 こゝに こゝにて麦阿  
 14 16 09 くだ物なと くだもの 各保麦阿中  
 14 16 10 まいらせよ まいれ各保麦阿中 まいらせて  
 陽  
 14 16 10 おのことも おのこともは中  
 14 16 10 めさんも めさんに保飯 めさんは麦阿 ナシ  
 中  
 14 16 10 ことノしき程なりなどの たまふことノし  
 ことて各保麦阿中  
 14 16 10 なりなと なりと陽  
 14 16 10 心 御心各麦阿  
 14 16 10 たノ ナシ各  
 14 16 11 空を そらをのみ各保飯麦中 空のみ阿  
 14 16 11 給ふ たまへる各保中 たまへる各  
 14 16 11 御けしきの 御けしき各 けしきの中  
 14 16 11 心くるしければ 心くるしければことほりに

見たてまつり給各保飯麦阿中  
 14 16 11 おほし おもほし麦阿  
 14 16 11 まきれすは みたれすは陽  
 14 16 12 御をこなひにも 御をこなぬも陽飯 御をこな  
 ひ麦阿  
 14 16 12 心 心を保中  
 14 16 12 給はんこと たまふこと 各 ナシ麦阿  
 中  
 14 16 12 かたかやと かたからむなと各麦 かたかやな  
 と保飯 かたらんなど阿 かたからんかしなと  
 中  
 14 16 12 みたてまつり給 おもひたまへり各麦阿 おも  
 ひるたまへり保 みいたまへり中  
 14 16 12 ほのかに けにほのかに麦阿  
 14 16 12 みし 見えし飯  
 14 16 13 御おもかけたに 御かたち各 御面影も麦  
 阿  
 14 16 13 わすれかたし わすれかたきを各陽保飯麦  
 阿 わりなしや中  
 14 16 13 まして まいて陽麦阿  
 14 16 13 ことはりそかした ことはりと各 ことごと  
 はりそかした 陽 わりなしやと保 わりなしと  
 飯 わりなしや麦阿 ことごとほりの御ことな  
 り中  
 14 16 13 思ひみ 給入り おほゆ各 おもふ保 おほす  
 飯 ナシ麦阿中  
 14 16 13 昨日けふと きのふけふなど各  
 14 16 14 おもひ 給ふる おもふたまへる 陽 おもふたま  
 へる保 思給へる飯麦中 思給る阿

14 16 14 御はても 御はて各保 御いても陽 御はての  
 麦阿中  
 14 16 14 やうノ ナシ各保麦阿中  
 14 16 14 ちかうちかく各陽飯  
 14 16 14 侍にけり はへりにけるを各 侍りにける保  
 中 侍ける麦阿  
 14 16 14 いかやうにか いかやうにか保  
 14 16 14 おきておほしめすらむと おほしをきてさせ  
 給らんと各麦阿 おほし おもほし麦阿 お  
 ほしをぎつ 覽なと保飯 おほしをきつ へきと  
 中  
 14 17 01 なにはかり なにはかりかは保 いかはかりか  
 は飯 何はかりの麦阿 なにかはかり中  
 14 17 01 よのつねならぬ よのつねにことなる保飯麦  
 阿中  
 14 17 01 事をかは ことをか陽麦阿中 ことを飯  
 14 17 01 ものせん せん保飯  
 14 17 02 心さし 心さしに各 御心さし 陽 心さしにて  
 保飯中 御心さしにて麦阿  
 14 17 02 をかれたる をかれたりける各陽保 しをかれ  
 たりける飯麦阿 しをかれたりし中  
 14 17 02 などこのたひなん などこそ此たひ麦阿 など  
 このたひそ中  
 14 17 02 経なともあまたありけるを ナシ麦阿  
 14 17 02 経なともあまた 経なとも各 経とも 保 経  
 ともなと飯  
 14 17 03 ありけるを ありけるを 中  
 14 17 03 なにかし なにかしの麦阿中  
 14 17 03 そうつ そうつにそのこと各 そうつ 保

飯僧都そのことなん麦阿

14 17-03 その心くはしくナシ各麦阿そのことくは  
しつ陽そのことくもは保そのことくも飯そ  
のことは中

14 17-03 きくをきたなれはこえをかれたれは各きく  
おいたなれは保きくをきたたんなれは飯聞  
えをきたなれは麦きこえをきたれは阿きく  
おひたければ中

14 17-03 又ナシ各保飯麦阿中

14 17-03 くはへてすへきくわへすへき飯

14 17-04 ことくもくことくもは各ことくも陽ことく  
もなとも保中事ともなと飯事なとは麦な  
とは阿

14 17-04 かのその麦阿

14 17-04 そつつのナシ各そつつ中

14 17-04 なむナシ中

14 17-04 ものすへきすへき各

14 17-04 などと飯麦阿

14 17-05 かやうかうやう保

14 17-05 事ことをも各中事を陽ことも保飯麦

阿

14 17-05 もとよりとりたてくもとより各とりわき  
てもとより保とりわきて飯麦阿とりもちて  
中

14 17-05 おほしおきてけるはおほしをきてけるいと  
各おほしおきてければ保飯おもほしおきて  
けるは麦阿

14 17-06 なりけりとなりけりとなん保なりけるとな  
ん飯なりと麦阿なりと麦

14 17-06 み給には見たまひしかは各み給ふるは

14 17-06 陽見え給には飯み給る中にも麦阿

14 17-06 かたみとかたみなと各中かたみなとやうに  
陽かたみなとに保かた見なとも飯

14 17-06 いふはかりナシ各陽保飯中いふへく麦

阿

14 17-06 とくめくめ各

14 17-06 きこえナシ各保飯麦阿中

14 17-07 給へる人たにものし給はぬこそくちおしつ侍  
れと申給へは給へる人たに物し給はぬにこ  
そ口をしつ侍れと申給へはは麦

14 17-07 給へる給へき各中給陽

14 17-07 ものしのこと飯

14 17-07 給はぬ給はぬに麦阿

14 17-07 くちおしつをしつ陽くちをしく飯

14 17-07 侍れと侍れと各陽保中

14 17-07 申給へは申給へる飯きこえ給へは中

14 17-07 そればかりならずそれはかりそかならず  
各それはかりそめならず陽保飯中これをか  
りそめならず麦阿

14 17-07 いのちなかきながら入たる各命のなかき麦

阿いのちなかい中

14 17-08 人々にもひとくも各陽保飯中一人くにも  
飯人くしも中

14 17-08 さやうなる事さやうなること飯さやうの  
事麦阿中

14 17-08 すくなかりけるかすくなくかりける各すく  
なかへかりける中

14 17-08 みつからのナシ麦阿

14 17-09 こそそここそはこそはそここそ各保麦

阿こそそこそ中

14 17-09 かとはこのすゑをは各そのことは陽この  
かとは保飯中その門麦阿

14 17-09 ひろけ給はめひろけたまふへき各保ひろけ  
給らめ陽ひろめ給へき飯ひろけらるへき  
麦ひろけらるへき阿ひろけらるけ給へき中

14 17-09 などなりけれと各

14 17-09 なに事につけてもナシ各麦阿中ふしへに  
保

14 17-09 しのひかたきしのひかたい中

14 17-10 つくましくてつくまじうて各保えもつく  
ましくて麦阿みえたまはんもつくまじうて  
中

14 17-10 すきにしことすきにしかたのこと各すきに  
しこと(も)保

14 17-10 いたうもいたくも各麦阿ナシ陽

14 17-10 の給いてぬにいひいてぬに各

14 17-10 またれつるまたれる麦

14 17-11 山ほととぎすのほととぎす各飯ほととぎす  
の陽保麦阿中

14 17-11 ほのかにナシ麦阿

14 17-11 うちなきたるもうちなきてわたる各飯なき  
たるも陽うちなきてわたるも保鳴てわた  
る麦阿中

14 17-11 しいりてかとしりてかたと保しいりてかなと  
飯

14 17-11 きく人きく人く飯ナシ麦阿

14 17 11 たゝならず たゝならず 行末ニ詰メテ書イタ  
 ノヲ削ツテならず 次行ニ書ク「陽  
 14 17 12 いとゝナシ各いと飯  
 14 17 13 給ふたまへは各給に陽麦阿  
 14 17 13 大将 大将のき各陽保飯中 大将君飯ナシ  
 麦阿  
 14 17 14 君につてなん 君にへつてなん中  
 14 17 14 はなたち花は花の橋は麦  
 14 17 14 など なども保飯中 たちも麦阿  
 14 18 01 おほくおほつ保 いたく麦阿  
 14 18 01 いひあつめたれといひつゝけたれと各保  
 中 いひつゝけたれとも飯 いひつゝけたるや  
 麦阿  
 14 18 01 とゝめつ もらしつ各 トゝめつ陽ナシ麦  
 阿ととめつ中  
 14 18 01 大将の君はやかて かく大将の君各 やかて  
 大将も保飯 大将殿も麦阿 やかて大将とのも  
 中  
 14 18 01 御殿ぬにおまへに各保飯麦阿 おまへとの  
 い(校合力)各 御まへに飯 御前に麦阿 御  
 まへとの(中)中  
 14 18 02 心ナシ麦阿  
 14 18 02 時々 時ノの麦阿  
 14 18 02 かやつにひ給に御とのめし給各と  
 のめしたまふ保 御殿めし給に麦阿とのめし  
 (かやつにひ給に)給に中  
 14 18 02 世は世に各保には陽 世には麦阿よたは  
 中  
 14 18 02 いとナシ各いと保

14 18 03 おまし 御まし陽中  
 14 18 03 あたりのあたりを各 わたりの飯  
 14 18 03 いたうも いたう各このころはいたくも麦  
 阿  
 14 18 03 たちはなれぬなどにみなるゝに各 たちはな  
 れぬおりなどに保飯 たちはなれぬを麦阿「傍  
 記アルカ」中  
 14 18 03 つけても つけて各陽中 つけてゝ保飯ナシ  
 麦阿  
 14 18 03 おもひ出らるゝ おもひいつる各保飯麦阿  
 中  
 14 18 04 ことも こと各陽保飯 折麦阿中  
 14 18 04 おほかり あり中  
 14 18 04 いとあつきころ 院はいとあつき比は麦  
 阿  
 14 18 04 すゝしきかたにてななめ給にナシ各麦阿  
 中  
 14 18 04 かたにて かに保飯  
 14 18 04 はちすのさかりなるを はちすを各 はちすさ  
 かりなるを保飯 はちす中  
 14 18 05 み給に見給にも各 みたまふにつけても  
 保 見給て飯み給ても麦阿 みたまふになん  
 中  
 14 18 05 いかにかて陽麦中 いかにてノ上カフに  
 ヲ書ク「保  
 14 18 05 おほかるなと なみたのと陽 なみたのと  
 保 おほえるなと飯 おほかるなみたのと中  
 14 18 05 まつおほしいてゐるゝにおほなる各保中 お

もほさるゝ麦阿  
 14 18 05 ほれノしくてすゝしきかた各すゝしきか  
 たにほれノしく麦阿中ほれノしくほれ  
 ノしく中  
 14 18 06 つくゝとおはする ななめ給各保飯麦阿  
 中  
 14 18 06 日もナシ各保麦阿中  
 14 18 06 くれにけりくれにければ麦阿  
 14 18 06 こゑ「こゑの保」こゑなと中  
 14 18 06 はなやかなるにいと はなやかなるに保飯麦  
 阿中  
 14 18 06 おまへの「せ女御まへ」校合力「各御ま  
 への陽麦中 御前の飯阿  
 14 18 07 ゆふはへをゆふはへも各保飯麦阿  
 14 18 07 のみナシ麦阿中  
 14 18 07 み給ふはけにそみ給にそ陽飯み給けにそ  
 中  
 14 18 08 我なきくらす わかなきくらす 他本中  
 14 18 08 むしのこゑ哉 ひくらしのこゑ陽  
 14 18 08 哉と詠め給に麦阿  
 14 18 08 おほつおほく各保飯麦阿  
 14 18 09 とひかふもとひちかつを「らん」しても各と  
 ひかふを保飯阿とひちかつも飯とひちかつ  
 を中  
 14 18 09 とんととれいのとぶといふ各麦阿とひてと  
 れいの中  
 14 18 09 ぶることと「フ」のことは各麦阿「ぶること  
 を保ぶること」中  
 14 18 09 すちこのみすちに各麦阿みちには保飯す



14 19 11 かゝる秋かなかゝる秋きかな保かゝる秋か  
なとてかくてわすれさせ給時なくかきくらし  
つゝ麦阿

14 19 11 神無月にはおほかたも 神無月になりて各陽  
保〔神無月かみな月陽〕 神無月はおほかた  
飯 神無月にもなりぬ麦阿 神な月はおほかた  
も中

14 19 12 なかめいたつなかめ各  
14 19 12 給てたまて保  
14 19 12 けしきもけしきなと各飯麦阿けしき陽け  
しきなと保けしきなとも中

14 19 12 えもいはぬ心ほそさに哀に心ほそきに麦  
阿  
14 19 13 ふりしかとゝふりにしことゝ各麦阿ふりし  
かとゝと陽ふりしかことと保ふりしかと  
なと飯ふりしかことと中

14 19 13 ひとりこちひとりこちて陽中  
14 19 13 おはすをわするに麦阿  
14 19 13 わたるはたる麦  
14 19 13 雁のつはざとりのつはざなと各かりかね

陽  
14 19 13 うらやましくうらやましくのみ各保麦阿  
中  
14 19 13 うらやましく陽うらやましく飯うらや  
ましくのみ麦阿中

14 19 14 まほられ給ふまほられたまひて各なかめ給  
陽なかめられたまて保飯たまて給て飯う  
ちまもれて麦うちまもられて阿まもられ給  
中

14 20 01 かよぶまほろしかよぶまほろし  
う削ッ

テほろヲ書ク飯

14 20 01 夢にたに夢たにも飯

14 20 01 ゆくゑたつねよゆくへしらせと陽麦阿

14 20 02 のみナシ陽

14 20 02 そへてそへても中

14 20 02 おほさるおほす各陽麦阿中おもほすに保  
飯おもほすに飯おもほす麦阿

飯おもほすに飯おもほす麦阿

14 20 02 五節なといひて世中そこはかとなく世中そ  
こはかとなくて五せちなといひて麦阿

14 20 02 そこはかとなくそこはかとなく各

14 20 03 ころに各

14 20 03 大将殿の 大将の飯 大将との中

14 20 03 君たちきんたち各陽保飯きんたちの  
中

14 20 03 わらは殿上はらは殿上飯

14 20 03 し給へるいてまいり給へりしてまいるとて  
各し給へてまいり給へり陽し給てまいり  
給麦し給てまいり阿し給てまいり給へり  
中

シ各麦阿

14 20 04 おなし程にてふたりいとつつくしきさま也ナ  
シ各麦阿

14 20 04 つつくしきつつき陽

14 20 04 也なるを陽保飯

14 20 04 御おちをち各陽保

14 20 04 頭中将とつの中將各中將陽

14 20 04 蔵人少將くら人の少將各陽保飯

14 20 04 などなとも陽ナシ保飯なとを麦阿

14 20 04 をみにてをみきて各をみにて保見給  
に麦阿

14 20 05 あをすりのすかたともきよけにめやすくてみ  
なナシ保

14 20 05 あをすりのすかたともあをすりのすかたな  
と各あをすりのすかた麦阿

14 20 05 きよけにめやすくてみないとめやすしおま  
へに各うちつゝきいときよけにめやすくて  
飯をかして麦阿

14 20 05 うちつゝきもてかしてつぎつゝナシ各麦阿つ  
ちつゝきもてかしてつぎ陽うちつゝきもてか  
してつぎつゝ保もてかしてつぎつゝ飯

14 20 06 まいり給かしてつぎまいり給各まいりたまへ  
りみな保飯まいりいとなみ麦阿

14 20 06 おもふ事なけるさまともナシ各

14 20 06 おもふ事なけるおもふことなき中

14 20 06 さまともをありさまとんを保飯とんと  
もを飯

14 20 06 み給にみたまふにも各みたまふにつけても  
保飯麦阿中

14 20 06 いにしへいにしへの保飯麦阿

14 20 07 おりをりも保飯麦阿事を中

14 20 07 さすかにナシ各

14 20 07 おほしいてらるへしおほしいてらる各おほ  
しいつ保中おもほし出られて麦阿

14 20 08 とよのあかりととよのあかりに各陽保飯麦  
阿中

14 20 08 くらしつるかなすくしつるかな陽麦阿中す  
くしつこ阿すくへくへらこ中

14 20 08 ことしをはことしを各保飯ことしも麦こ  
とこ阿

14 20 09 かくて かく麦阿中  
14 20 09 すくしつればすくしつれ陽  
14 20 09 さり給へきさりぬへき飯そむきなん麦  
阿さり給はん中

14 20 09 ほと事中

14 20 09 ちかくちかう陽飯中

14 20 09 おほしまつくるにおほしまつくることあれ  
は各おほしまつくるごちめも保飯おもほし  
まつくるとごちめの麦阿おもほしおほし中

14 20 10 あはれなる事ナシ各あはれ保飯麦阿

中

14 20 10 ことゝもことゝもなと各保飯麦阿中

14 20 10 御心の中に御心のうちに各陽保飯中心の中  
に麦阿

14 20 10 おほしつゝけておもほして麦阿

14 20 11 人々にも人々も麦阿

14 20 11 つけてつづつゝ麦阿中

14 20 11 もの給ひなとものなとたまひ各ものたまひ  
なとす保飯中ものたまひものたひ飯御か  
たみに思ふへき物をさまゝ給なとせさせ給

麦阿さまゝナシ阿

14 20 11 おとろゝしくおとろゝしく各保飯麦阿

中

14 20 11 いまなんいまそ各いまは保飯麦阿中

14 20 11 かきりとかきりに各と陽麦阿かほにも

中

14 20 12 しなしたまはねとちかくさぶらふ人々は御  
ほいとけ給へきかけはなれんとあらはにし

もなけれと御心ひとつにかくいとなみ給麦  
阿

14 20 12 しなしたまはねとしない給はねと中

14 20 12 ちかくちかう陽保飯中

14 20 12 人々は人ゝ飯人ゝも中

14 20 12 御ほいとけおほむ仏陽

14 20 12 けしきと御けしきと各保飯御けしきを麦  
阿けしきを中

14 20 12 みたてまつる見る各中ちかくさぶらう人々  
見しり奉る麦阿

14 20 13 としのまこととしの飯

14 20 13 くれゆくもくれゆくを各くれ行につけても

麦阿

14 20 13 心ほそくこゝろほそつ各陽保飯中

14 20 13 かなしきことかきりなしかなしとおもふ各  
保麦阿中かなしきことかきりもなし飯

14 20 13 おちとまりてかたはなるへき人の御ふみとも  
やれはおしとおほされけるにやすしつゝの

こし給へりけるをものゝついでに又あらた  
めまさりつゝなみたつきせず御みつからは  
さすかにこゝもかしこも御めとめて今はか  
きりにおもほしなりつゝをちとまりてはつし

るめたき御でともさまゝの御文ともひぎや  
らせ給もおしとおもほしめしいかにやせつゝ  
はやりのこし給しも返々麦阿御でとも御  
てうとゝも阿返々かへすゝ阿

14 20 13 おちとまりてをちとまりては中

14 20 14 なるへきなりぬへき保

14 20 14 人のひとゝの各ナシ飯

14 20 14 ともナシ各とも陽中

14 20 14 やれはやるは各中

14 20 14 おしとをしう中

14 20 14 のこしのこしを各

14 21 01 給へりけるを給へりけるを中

14 21 01 ものゝついでにかゝるものゝついでに

中

14 21 01 御覽しつけて御らんして各御らんして  
けて保御覽しつゝ麦阿

14 21 01 やらせ給ひなとするにひきやり給に麦阿や  
からせ給なとする中

14 21 01 かのすまのあかしの各保中あかすまの  
校合力各明しにわたらせ給し麦阿

14 21 02 ころほひ比麦阿

14 21 02 とろゝよりとろゝに各

14 21 02 たてまつれたてまつり各奉らせ麦阿

14 21 02 給けるも給へりける各保飯給ける陽麦阿

中

14 21 02 あるなかに御ふみともなとあり各保中御ふ  
みなともあり陽御文ともあり飯御ふみなと  
あり麦阿

14 21 02 かの御でなるはかの御ふみは各これらは麦  
阿

14 21 02 ことにナシ麦阿

14 21 03 あはせてそあはせて飯

14 21 03 しをきをき麦阿しをひ中

14 21 03 給ける給へりける各給し陽たまつけむ  
保給へる飯

14 21 03 ひさしうひさしや麦八くノ下二文字アルカ

各飯麦阿

14 21-03 なりけるなりける各陽保飯麦阿中

14 21-03 世の世中の麦阿

14 21-04 ことゝことな各陽

14 21-04 おほすにおほされて各おほさるゝに陽麦阿

中 おもほさるゝに麦阿

14 21-04 やうなるナシ陽 やうにある麦 やうにあり

阿

14 21-04 などなどのやうにて陽なといみしう保な

といみし麦阿 などのいみしう中

14 21-04 形見にかたみにも各保飯中 かつ身とも陽麦

阿

14 21-04 しつへかりけるをみすなりぬへきよとおほせ

はかひなくてうからぬ人々三三人はかりお

まへにてやらせ給ふいとがゝらぬほとのこと

にてたにすきにし人のあとゝみるはあはれな

るをましてなりぬへくあさやかにかのむか

しの御てなりければやらんもなをかなしうて

うちもおかれたまはず麦阿

14 21-04 しつへかりけるをしつへかりける各しつへ

きかりけるを保しつへきを中

14 21-05 みすなりぬへきよとよと各みすなりぬへき

と保みすなりぬへきよと中

14 21-05 人々 人各陽保飯中

14 21-05 三人 ナシ中

14 21-05 はかりはかりして各陽飯

14 21-06 おまへにてナシ各陽 御まへにて飯 心して

中

14 21-06 ほとどのナシ各陽保飯中

14 21-06 すきにし人のすきぬるかたは各すきぬる

陽すきにし保飯すきにし(ケル)保すきに

ける中

14 21-06 あとゝみるはナシ各あとみる事は陽あと

ゝみるには(ミユル)保あとゝみゆるは飯

中

14 21-07 あはれなるをあいなくものあはれに見ゆる

に各あいなうものあはれなるを陽保中あい

なうナシ中(あひなくものゝあはれなるを

飯

14 21-07 ましてナシ各陽中

14 21-07 いとゝいと各陽中 ナシ麦阿

14 21-07 それともそれと陽

14 21-07 みわかれぬみえわかれぬ保ハ ノ上カラ

れヲ書ク(各保みえぬ陽麦阿 見えわかぬ飯

14 21-07 ふりおつるなかるゝ各

14 21-08 御涙のなみたの雨に麦阿

14 21-08 水くきにみつつき各みつつきのことゝ

麦みつつきのことゝに阿又中

14 21-08 なかれそふをそふを各陽なかれそふも

飯いとゝなかれぬへきを麦阿 づらぬきそふ

を中

14 21-08 人も ナシ各陽麦阿中 人も保 人飯

14 21-08 あまり ナシ麦阿

14 21-08 心よはしと心よはくと麦阿こよなしと

中

14 21-08 みたてまつるへきか人ノ見たてまつるへ

ければ各人のみたてまつるへければ陽中人

みたてまつりぬへければ麦阿

14 21-08 かたはらいたうはしたなければナシ各陽麦

阿中はしたなければ保かたはらにいたうは

しなななければ飯

14 21-09 おしやりたまひてをしやりたまて保をしや

りて飯すへてをしやりて麦阿すへてをしや

り給て中

14 21-10 猶まとふかななをやまとはん各なをやまと

はんなどおほす麦阿

14 21-10 さふらふこせんなる各御まへなる陽保

中 おまへなる保 御前なる飯麦阿

14 21-10 人々もひとゝ各

14 21-11 まほにはえひきひろけねとそれとほのゝみ

ゆるにかたはし見るにそれいのおもほゆ

るに麦阿

14 21-11 まほにはまをには各中まほにはひノ上カ

ラにヲ書ク(飯

14 21-11 えひきひろけねとひきひろけねと各あらね

と陽えひきひろけはてねと飯ひろけねと中

14 21-11 ほのゝみゆるにほのみる人各みるほと

陽ほのみるほと保中ほの見る飯

14 21-11 とも ナシ各とん陽も麦阿ともは中

14 21-12 この世ながら此世ながらの麦阿

14 21-12 御わかれのほどをわかれの程を麦阿御わか

れを中

14 21-12 おほしけるおもほしける飯麦阿

14 21-12 かいたまへるかきたまへりけるを各かき給

へる陽麦阿かいたまへりける保飯(かいか

き飯

14 21 13 ことのはナシ各ことのはは麦阿

14 21 13 けになかノ各けしき陽保飯しけき

中

14 21 13 そのおりよりもそのわたりにも中

14 21 13 せきあへぬすまの御わかれせきあえさりし

各すまのせきあえす陽保飯麦阿

14 21 13 かなしき御心まとひ各

14 21 13 やらんかたなしナシ各やらんかたなければ

麦阿

14 21 14 ひときはのひときは各保飯麦阿

14 21 14 御心まとひもめしく人わるくなりぬへけれ

はよくもみ給はてこまやかにかき給へるかた

はらにころをさまらす人見たてまつるへ

ければよくも見たまはてこまやかなるかたは

しに各御ころまとひ人めもめしく人わ

るかりぬへければこまかにかき給へるはしに

陽田めしくあしう中人ナシ中かき給

へるかい給へる中御心まとひ人めもしらす

すいとめしく人わるくなりぬへければこま

かにもみたまはてかたはしに保こまかにも

み給はてかたはしに御心まとひ人めもしらす

いとめしく人わるく成ぬへければ麦阿い

といと麦

14 21 14 御心まとひも御心まとひ人めもしらす

飯

14 21 14 めしくいとめしく飯

14 21 14 人わるく人わろう飯

14 21 14 よくもえよくも飯

14 22 01 こまやかにこまかに飯

14 22 02 みるもかひなしみるもかなしき各陽麦阿

中

14 22 02 煙とをなれとけふりともなれと各陽保飯

中煙とほなれ飯

14 22 02 かきつけてかきつけてもみて各かきつけさ

せ給て陽かきつけたまひて保飯

14 22 03 みなやかせ給やかせ給各みなやかせ給つ

陽保中みなやかせたまひぬ飯をしやらせ給

麦阿みなぬ(や)かせ給つ中

14 22 03 御仏名も御ぶつみやうなどのこと各お

ほん仏名など保仏みやうなど飯仏名なども

麦仏名など阿御仏名なども中

14 22 03 はかりにはかり各保飯麦阿

14 22 03 こそはとこそと保飯

14 22 03 おほせはにやおほせは各麦阿おもほせはに

や陽おもほすに保飯おもほせは麦阿

14 22 03 つねよりもつねより陽保飯

14 22 04 尺定のこゑノよぶかき尺ちやうのこゑ各

中尺ちやうのさくちやうの中さくちやう

のこゑノ陽錫杖のこゑ保飯阿錫杖さく

ちやう麦阿

14 22 04 など各麦阿中など各陽保飯

14 22 04 おほざるおもほざる保飯阿

14 22 04 なかきとほき保飯なかい中

14 22 04 ことをこひねかふもことをいのるも各事を

こひちかふを陽ことをこひちかふも保中こ

とをこひち(ね)かふも保事をこひちか

うも飯ことをこひねかふにも麦事をこ

なひねかふにも阿

14 22 05 き給はん事き給らんこと各き給らん

も麦阿きい給はんことも中

14 22 05 いたういたく各麦阿

14 22 05 まめやかに松のうわは松ノ松八虫損二ヨ

リ推読麦阿

14 22 05 導師の御たうしの飯たうし中

14 22 06 まかつるをまかりいつるを各まかつる

中

14 22 06 おまへに御まへに陽中御前に飯麦阿

14 22 06 めしてめしとめて保飯麦阿とめて

中

14 22 06 さか月御さかつき飯

14 22 06 などとも中

14 22 06 さほうけ各けさ陽保

14 22 06 よりもよりは陽

14 22 06 さしわかせ給てさしそへて各さしわか

て保飯さかしわかせ給て阿さしわかせ給

中

14 22 06 ことにろくなとたまはずこと六なとたまふ

各保飯ことにろくなと給中

14 22 07 ひさしくひさしく各陽保

14 22 07 まいりナシ各保飯中

14 22 07 おほやけにもおほやけに陽八のヲ削ッテに

ヲ書ク各陽保飯中

14 22 07 つかまつりてつかまつり麦阿中

14 22 07 御覽しつねに御らんし各院にも御らんし保

飯麦阿中

14 22 08 なれたるなれにたる保中なれわたる

飯

14 22 08 御導師のたうしの各麦阿御たうし飯

14 22 08 やう／＼やう阿

14 22 08 さぶらぶもさぶらぶを各保麦阿さぶらぶも

陽さぶらぶは中

14 22 08 おほさるおほしめさるへし各おもほさるへ

なるへし保飯おもほすなるへし麦阿中おも

ほすおほすお力中

14 22 09 宮たちみこたち各みやこたちこノ上カ

ラヤヲ書ク保

14 22 09 などナシ各

14 22 09 あまたナシ飯麦阿

14 22 09 給へり給へれば麦阿

14 22 09 梅の花のわつかにけしきはみはしめてナシ

各麦阿中

14 22 09 梅の花のむめの花保飯

14 22 09 わつかにはつかに飯

14 22 09 けしきはみけしきはみて陽

14 22 10 ほとおかしきをむめのはなかりをおかしき

をかさして各ほとをりをかして保飯むめ

の花おりをかして麦阿中むめの花むめ

依比も中

14 22 10 などもも保飯麦阿ナシ中

14 22 10 ありぬへけれとあるへけれと飯

14 22 10 猶ことしまてはことしまてはなを各中な

をことしはかりは陽今年はかりはなを麦

阿

14 22 11 むせひぬへきむせひ給へき麦阿むせひぬへ

い中

14 22 11 し給へはし給各し給て保飯麦阿中

14 22 11 物ごと各

14 22 11 うちすんしうちすし保麦阿

14 22 12 はかりそそ各はかりも飯

14 22 12 せさせ給あそひたまふ各保飯麦阿中

14 22 12 導師のおほむたうしの保飯おほむ御飯た

うし中

14 22 12 さか月の御さかつきの中

14 22 12 ついてに ついてにかゝることありき各保飯

中つゐてにおほせいたし給ける麦阿

14 22 13 命もしらすいのちもしらぬ各

14 22 13 雪のうち雪の中に飯麦阿雪中に麦

阿

14 22 13 けふかさしてんまつかさしてん麦阿

14 22 13 御返御かへし各陽御返事飯と有ける御返

しにたうし麦阿

14 22 14 みるへき花とみるへきみと陽

14 22 14 いのりをきていはひをきて中

14 22 14 わか身雪とわかみやゆきと陽

14 22 14 ヲトせにふりぬるともにきえぬると麦と

もにふりぬると阿

14 22 14 おほくおほつ保中

14 23 01 よみをきたれとかきつつけ給へれと各よみ

たれと陽かきつつけたれと保かきつけ給け

れと麦阿中

14 23 01 もらしつれいのもらしつ各かゝす陽保さ

のみかゝす麦阿もらしつ中

14 23 01 その日そそのひの各そのひ陽麦阿中その

ひ日麦

14 23 01 いてたまへるいてぬし給へる各なにごとも

ことそきてぬ給へる陽いてぬたまへる保い

てぬ給へる飯はしめて出給へる麦阿

14 23 01 御かたち御かたちを各保飯麦阿ナシ陽御

かたち中

14 23 01 御ひかりにも御ひかりも各ひかりにも

中

14 23 02 おほくそひていとおほくそひて各保飯おほ

くおほつ保久しくこもり給へりつるにそ

ひ下麦八給へるるヲリニ直ス力麦阿お

ほつそひて中

14 23 02 ありかたくありかたう陽保飯中

14 23 02 めてたくナシ各中めてたう陽かたはら麦

阿

14 23 02 みえ給を見たてまつるに各保麦阿中みえ給

陽

14 23 02 ぶりぬるぶりすぎぬる中

14 23 02 あいなうあひなく飯あやしく麦阿あやな

つ中

14 23 03 涙も涙を各保麦阿中涙ぞ飯

14 23 03 とゝめさりけりえとゝめさりけり保中とゝ

めえさりける飯

14 23 03 とし年も麦阿

14 23 03 おほすもおほすにも保おもほしめすにも

麦阿

14 23 03 心ほそきにこゝろほそつおほさるゝに陽心

ほそき阿

14 23 03 わか宮のわか宮陽中

14 23 03 なやらはんに なやらはんと各中やしなはん  
を陽 ナシ飯 なやらはんとて麦阿  
14 23 04 をとたかかへきことなわさをせさせん  
と ナシ各  
14 23 04 をとたかかへきことなわさを おとたか  
へるへきわさを保中をとたかく麦阿  
14 23 04 せさせんとせんと陽保飯中 ナシ麦阿  
14 23 04 ありきありかせ飯  
14 23 04 給も たまふにも保麦阿 給に飯  
14 23 04 御ありさまを おほんありさまを保御有様を  
麦 御さまを中  
14 23 05 みさらんことへ 見さらんことよと飯 見給は  
さらん程ちかくなりぬるかして麦阿 みさら  
んするこそなと中  
14 23 05 よろつによろつ陽

14 23 05 しのひかたし 忍ひかたくおしのこひ給て麦  
阿(のこひのこひ麦)  
14 23 06 年もわか世もこしも我身も各陽飯中  
14 23 06 けふやつきぬる 今日やはてぬる麦阿  
14 23 06 ついたちのほとのこと ついたちこる各 つい  
たちのほと陽中 ついたちのこと保飯 ついた  
ちの程はことに麦阿  
14 23 07 つねよりことなるへくと つねよりもことな  
るへきことへもしなへ各 つねよりもこと  
なるへく陽飯中ことなるへくことなるへう  
飯(ことなるへき事)中(つねよりもことなる  
へくことへも保 何事もめてたく麦阿  
14 23 07 をきてさせ おきておほせ各保中させ  
阿  
14 23 07 みこたち 御子たち飯麦阿

14 23 07 大臣の 大将ま入給へる麦阿  
14 23 07 御ひきいて物ひきいても其の(とも保 御ひ  
きいて物とも飯 御ひきて物麦阿 御ひきいて  
ものなと中  
14 23 08 しなへのろくともなになうおほしまうけ  
てこそしなへになくしなさせ給万是をか  
きりとおもほしめせは人にしたかひなつかし  
きさまにの給はせて今はとていかへならせ給  
けんいとかなしうこそ麦阿  
14 23 08 しなへのしなへ保  
14 23 08 ろくとも六とものことなと各保ろくともな  
と陽中ろくなと飯  
14 23 08 なになういとなく各保中 ナシ陽にな  
くと飯いとなう中  
14 23 08 おほしまうけてこそ おほしをきてへなとそ  
は入める各 おほしまうくとな保